まるごと印刷

Ver 1.0.1

操作マニュアル

TechBee

info@techbee.biz

更新履歴

バージョン	リリース日	更新内容
1.0.0	2024/02/12	初版
1.0.1	2024/02/29	ライセンスキー生成時のロジック修正

目次

更新履歴 2
目次 3
プログラムの目的 5
プログラムの構成 6
文言の定義 7
ファイル構成 8
帳票定義編集プログラム 9
■ **画面遷移図** 9
■ **共通仕様** 10
テキストボックス 10
アイコンバー 10
グリッド上のセルの直接編集画面でのセル色 11
■ **共通画面** 12
ファイル名の指定方法説明 12
データファイル選択 12
■ **試用期間中の起動** 13
① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。 13
② 試用期間の残日数を表示する。 13
③ 「プログラム起動」ボタンをクリックすることによりメインメニューが起動する。 14
④ ライセンス登録ボタンをクリックしてライセンス登録をする。 14
■ **ライセンス登録後の起動** 15
① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。 15
② ログイン画面が起動するのでユーザ ID：ADMIN を入力してログインする。 15
③ 管理ユーザのパスワードを登録する。 15
④ メインメニューが起動する。 16
■ **システム基本情報の編集** 17
① システムマスタ 17
② ユーザマスタ 20
③ 環境設定マスタ 22
■ **運用データ編集** 27
① データファイルマスタ 27
② 印字項目マスタ 29
③ 帳票レイアウトデータ 30
④ 差し込みレイアウトファイルマスタ 39
⑤ 差し込み帳票データ 47
帳票印刷プログラム 49
■ **画面仕様** 49
アイコンバー 49
実行結果 50

メッセージバー 50
■ 処理フロー 51
■ 試用期間中の起動 52
① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。 52
② 試用期間の残日数を表示する。 52
③ 「プログラム起動」ボタンをクリックすることにより「帳票印刷」画面が起動する。 53
■ ライセンス登録後の起動 53
① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。 53
② 「帳票印刷」画面が起動する。 53
エラー検知プログラム 54
■ 概要 54
■ 画面仕様 54
エラー一覧 54
ポート番号 54
■ プログラムの起動 55
① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。 55
② 「プリントマネージャーエラー表示」画面が起動する。 55
■ 通知例 55
データファイル仕様 56
■ サンプルデータ 56
ライセンス登録方法 57
お願い 57

プログラムの目的

業務用プログラムを開発する際の印刷部分の工数を削減するためのプログラムで、あらかじめ帳票のひな形を作成し、そこにデータを流し込むことにより任意の帳票を印刷する。

印字データファイルの形式は TSV 形式(タブで区切られたテキストファイル)。

出力方法には以下の種類がある。

① 一般帳票

文字列、罫線、画像に対して、それぞれ出力する座標を定義する。

ページプリンタ、ドットプリンタを用いて用紙を印刷する。

② Excel ファイル

Excel ファイルを出力するための Excel の書式ファイルに対して、シート名・セル位置を定義する。

③ Word ファイル

Word ファイルを出力するための Word の書式ファイルに対して､差し込み印刷用枠名を定義する。

※ Word ファイルを出力するにはシステム稼働ＰＣに MS-Word がインストールされている必要がある。

プログラムの構成

本プログラムシステムは次の３つのプログラムから成る。

① 帳票定義編集プログラム

取得した印字データファイルを出力するための定義情報を編集する。

② 帳票印刷プログラム

取得した印字データファイルを定義情報に従い出力する。

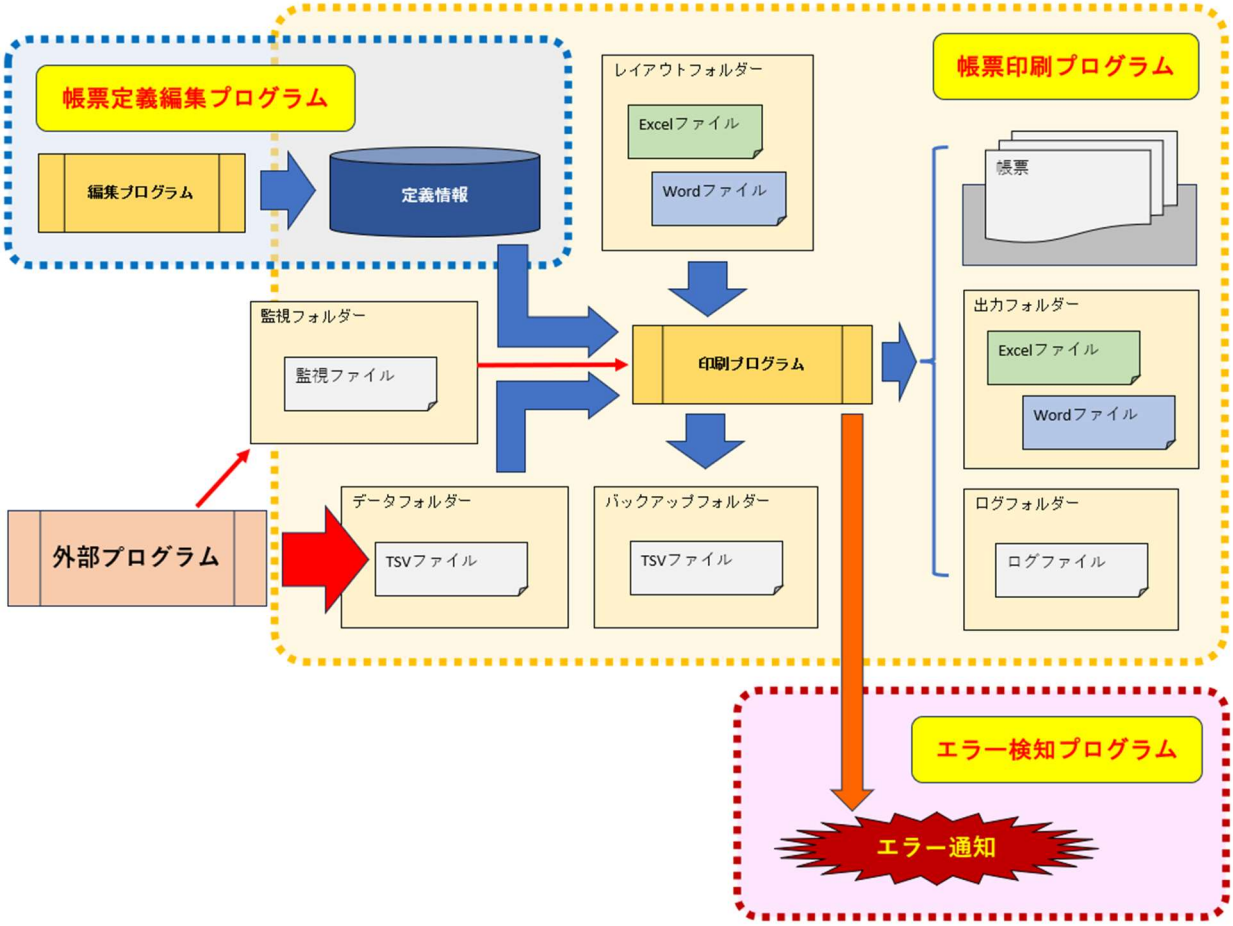
Excel ファイル・Word ファイルに出力する場合はあらかじめ用意されたレイアウトファイルにデータを埋め込む。

必要に応じてバックアップファイル、ログファイルを出力する。

③ エラー通知プログラム

印刷処理時に他のＰＣにてエラー発生を検知する。

システム管理者のＰＣ上で実行する。

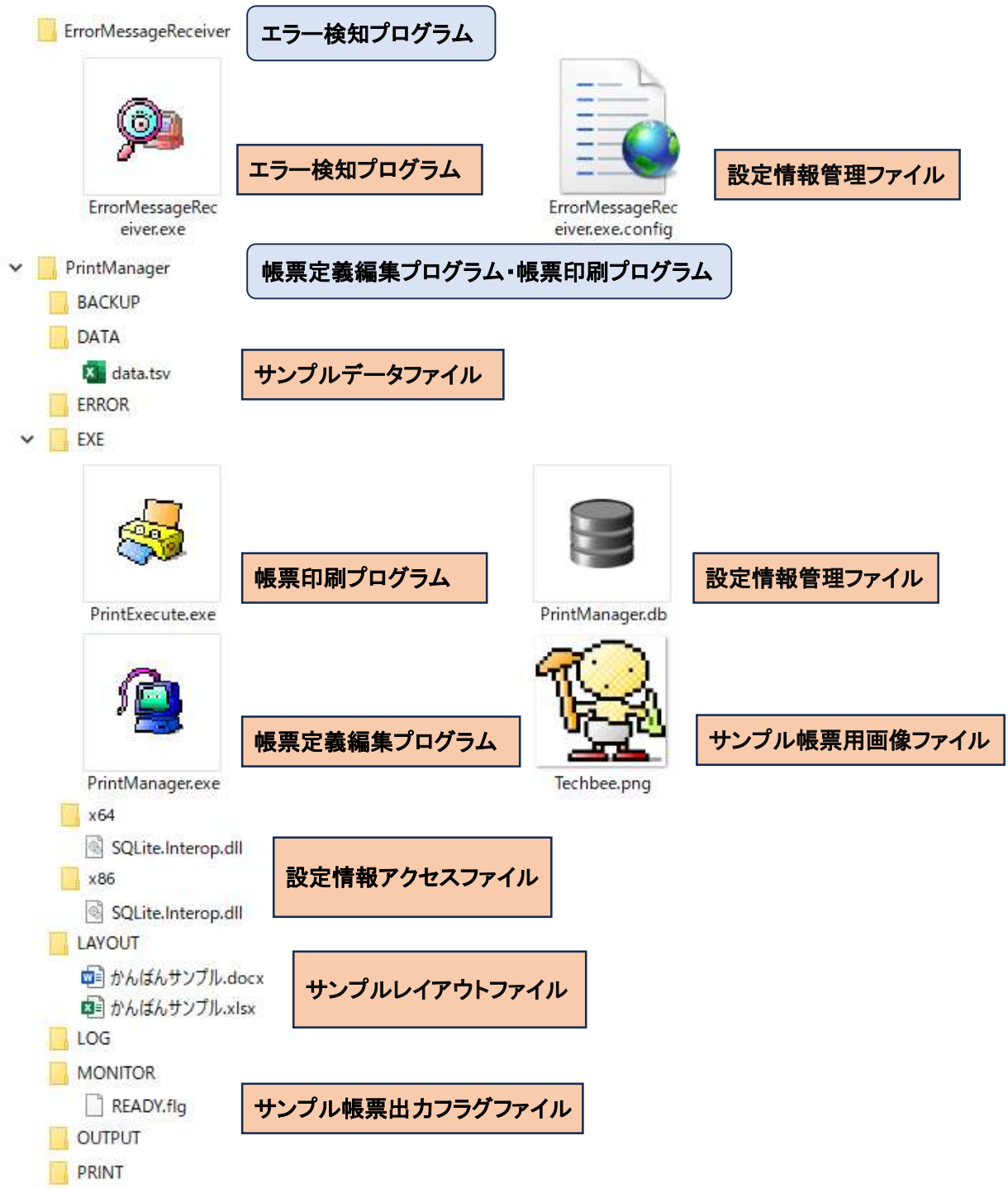


文言の定義

文言	説明
本プログラムシステム	ダウンロードしていただいた zip ファイルを解凍して得たすべてのファイルおよび、それらにより実現する機能のすべてを指す。
帳票定義編集プログラム	PrintManager.exe により実現する機能のすべてを指す。
帳票印刷プログラム	PrintExecute.exe により実現する機能のすべてを指す。
エラー検知プログラム	ErrorMessageReceiver.exe により実現する機能のすべてを指す。
システム稼働ＰＣ	本プログラムシステムを実行するＰＣを指す。
管理ＰＣ	システム管理ユーザが普段の業務で使用するＰＣを指す。 システム稼働ＰＣにて印刷プログラムが印刷エラー時に、管理ＰＣにエラーメッセージを送信する。
試用期間	本プログラムシステムを試用中(代金を支払っていない)で、試用開始から３０日未満の状態 プログラム実行に様々な制約があり、試用開始から３０日を経過するとライセンス登録以外の機能を実行することができなくなる。
ライセンス登録	本プログラムシステムに対して代金を支払い正規利用者として利用している状態。 すべての機能を使用することができる。 管理ユーザーと一般ユーザを区別して登録することができ、実行可能な機能を区別することができる。
Excel の書式ファイル	罫線やタイトル・ページ設定などを行い、可変データ部分のみを空けたもの。
Word の書式ファイル	出力する文面に差し込み印刷用の項目を埋め込んだもの。
レコード	グリッド上の行。
表示順	各種一覧画面のグリッド上に表示する順番。 同一の表示順が指定されている場合、その中でキーになる項目値の順で表示する。
無効フラグ	全データには無効フラグがあり、一時的にプログラムシステムで使用しないデータを無効にする。 各種登録画面のチェックボックスにて指定する。 各種一覧画面のグリッド上で行全体がグレイになり識別する。
帳票	プリンタを用いて用紙に印字するもの。 罫線や文字装飾も本プログラムシステムで定義し、出力する。
Excel 出力	あらかじめ用意した Excel の書式ファイルの特定のセルに文字列を埋め込むもの。 罫線や文字装飾は書式ファイルにて指定する。
Word 出力	あらかじめ用意した Word の書式ファイルの差し込み印字枠に文字列を埋め込むもの。 罫線や文字装飾は書式ファイルにて指定する。

ファイル構成

ダウンロードいただいたファイルを解凍すると次の通りファイルが展開される。



⚠ **特記事項**

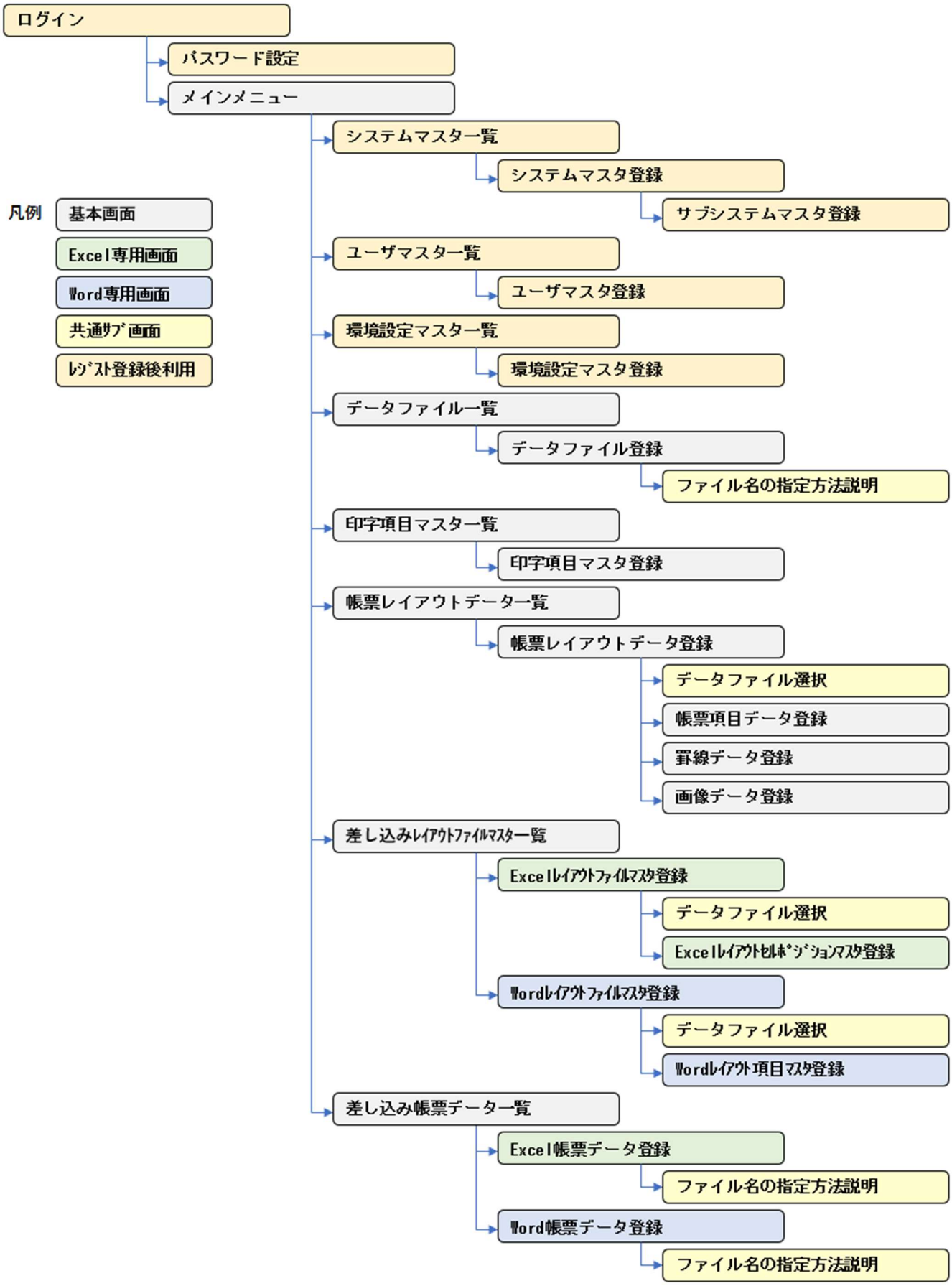
初期設定されているサンプルデータを元に印刷する場合は ¥PrintManager フォルダーを任意のフォルダーに配置する。

既存システムに組み込んで利用いただく際は ¥EXE フォルダー内のみそのまま任意のフォルダーに配置する。

エラー検知プログラムは ¥ErrorMessageReceiver フォルダーをシステム管理者が使用するＰＣの任意のフォルダーに配置する。

帳票定義編集プログラム

■ 画面遷移図



■ 共通仕様

テキストボックス

・必須入力

背景色によって必須入力を識別する。

薄赤：必須入力

・入力モード

枠線の色により入力モードを識別する。

青：ひらがな

緑：全角カタカナ

黄緑：半角ｶﾀｶﾅ

暗赤：半角英数

暗青：全角

黒：半角英数固定

・大文字変換

枠内の右側の▲表示にて入力文字の大文字変換を識別する。

右上に青▲：大文字変換

アイコンバー

画面のタイトル下に配置されていて、必要に応じて表示、活性・非活性化する。

：プログラム終了

：呼出元画面に戻る

：書式ファイルのダウンロード

：データ追加実行

：データ変更実行

：データ削除実行

：Excel データ作成

：Word データ作成(MS-Word がインストールされた環境でのみ表示する)

：行追加もしくは行追加画面起動

：行削除もしくは行削除画面起動

：行データ更新

：文字データ編集

：罫線データ編集

：画像ファイルデータ編集

：パスワード初期化

：情報画面起動

：ライセンス登録

グリッド上のセルの直接編集画面でのセル色

以下の４画面ではグリッド上のセルを直接編集することができ、セルの背景色で仕様を表す。

・対象画面

帳票項目データ登録

帳票罫線データ登録

帳票画像ファイルデータ登録

Excel レイアウトファイルマスタ登録

・背景色

水色：ダブルクリックにより選択画面が開き、選択する

白色：通常入力項目

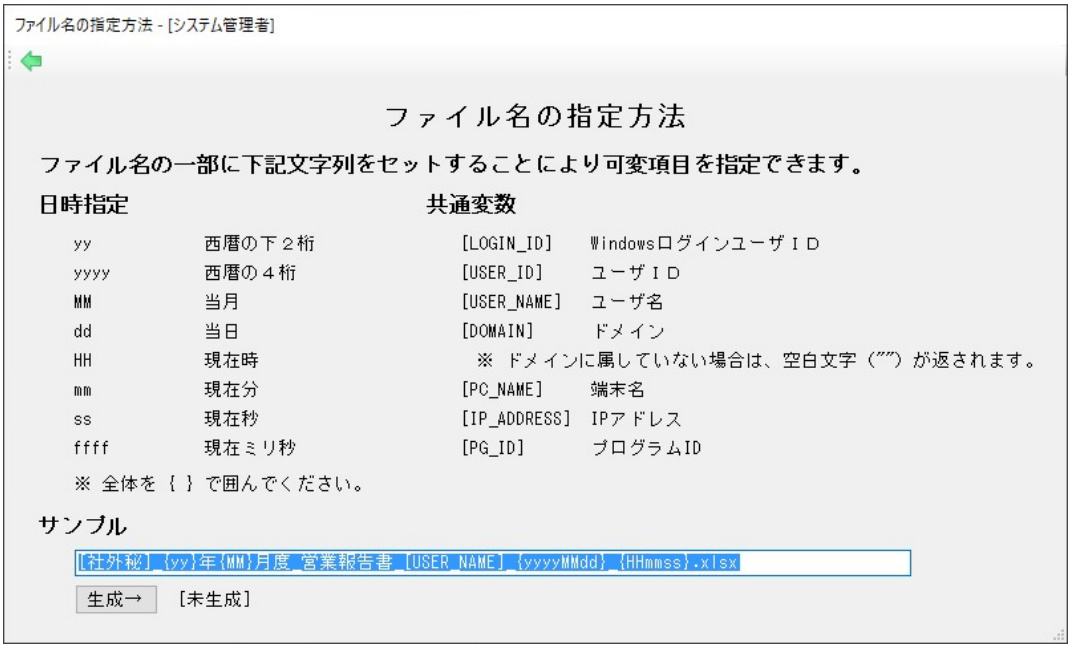
薄赤：入力必須項目

その他：文字色・背景色など色を指定する項目

■ 共通画面

ファイル名の指定方法説明

本プログラムシステムで使用するファイル名のうち可変部分をシミュレートする。
シミュレートした文字列をコピーして他の画面にて使用する。



データファイル選択

帳票印刷プログラムがデータファイルを取り扱うにあたり取り扱う関連ファイルの組み合わせを選択する。

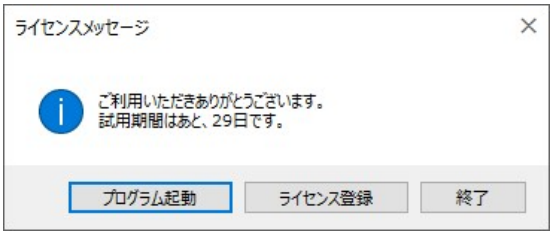
■ 試用期間中の起動

⚠ **特記事項**

試用期間中の動作を説明する部分は青文字にて表記

① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。

② 試用期間の残日数を表示する。



⚠ **特記事項**

初回起動時から３０日間上記メッセージを表示する。

以下のうち実施する処理を選択する。

・プログラム起動：メインメニューを開く。

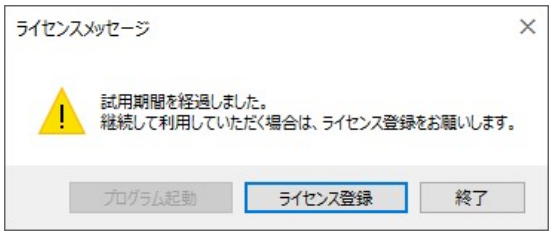
後述の「③「OK」ボタンをクリックすることによりメインメニューが起動する。」参照

・ライセンス登録：ライセンス登録画面を開く。

後述の「④ ライセンス登録ボタンをクリックしてライセンス登録をする。」参照

・終了：プログラムを終了する。

試用期間の残日数が０日以下になるとメッセージが以下の内容になりプログラムを起動することができなくなる。



③「プログラム起動」ボタンをクリックすることによりメインメニューが起動する。

⚠ **特記事項**

試用期間中はログイン画面は表示せず、固定で試用ユーザとしてログインする。

プログラムシステム基本情報グループおよび配下のボタンを表示しないために実行することができない。

※　ライセンス登録後の起動時のメインメニュー画面イメージ参照

④ ライセンス登録ボタンをクリックしてライセンス登録をする。

■ ライセンス登録後の起動

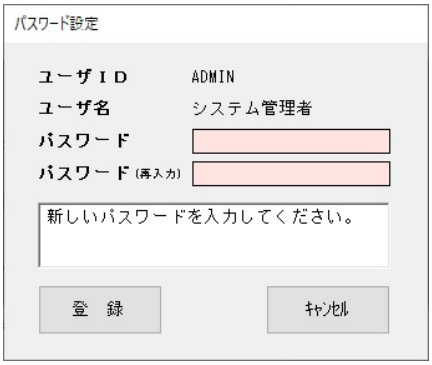
① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。

② ログイン画面が起動するのでユーザ ID：ADMIN を入力してログインする。

⚠ **特記事項**

「パスワード設定」画面の起動条件に該当する場合は下記「パスワード設定」画面が起動するので新しいパスワードを設定する。

③ 管理ユーザのパスワードを登録する。



⚠ **起動条件**

以下の条件に該当するユーザＩＤにてログインする際はパスワード設定画面に遷移する。

・作成直後

・パスワード初期化直後

・パスワード有効期限切れ（有効期限を設定している場合）

※　「環境設定マスタ」画面の「パスワード設定」参照

④ メインメニューが起動する。

⚠ **特記事項**

起動したユーザが持つ権限により表示するボタンおよび各画面にて実行可能な内容が変わる。

・管理ユーザ

プログラムシステムのすべての機能を使用することができる。

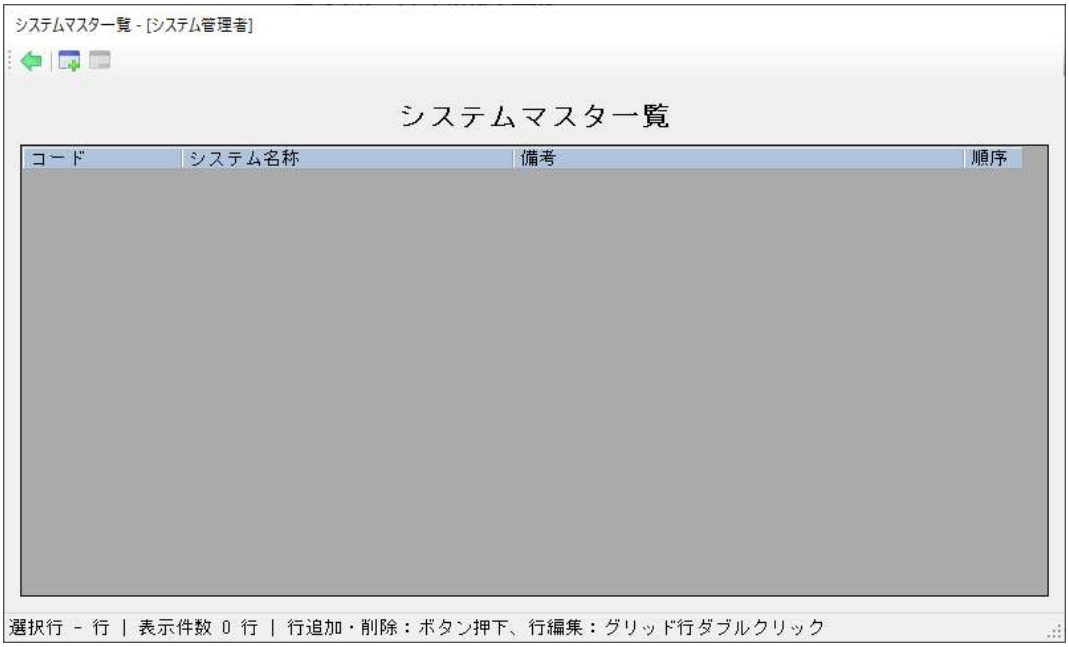
・一般ユーザ

プログラムシステム基本情報グループおよび配下のボタンを表示しないために実行することができない。

■ システム基本情報の編集

① システムマスタ

1. 「メインメニュー」の「システムマスタ」ボタンをクリックして「システムマスタ一覧」画面を起動する。

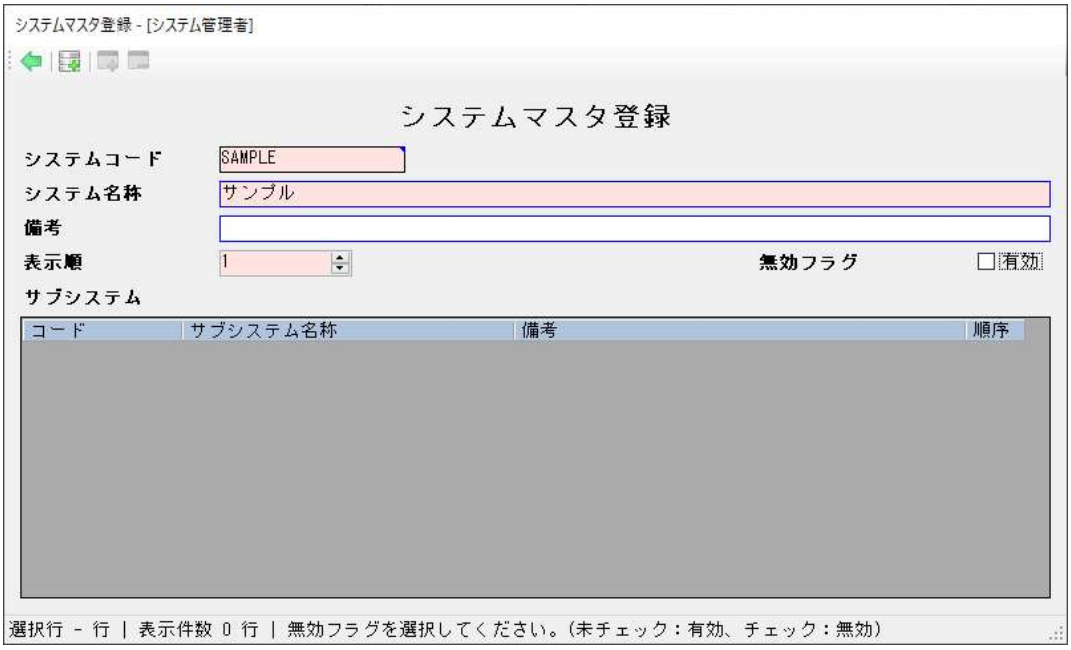


⚠ **特記事項**

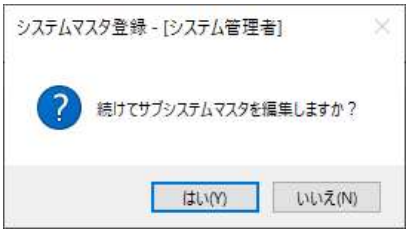
既存のサンプルデータには様々なサンプル情報が紐づくので、データを削除する際はプログラムシステムの仕様を充分理解した上で削除する。

2. 「行追加」ボタンをクリックして「システムマスタ登録」画面を起動する。

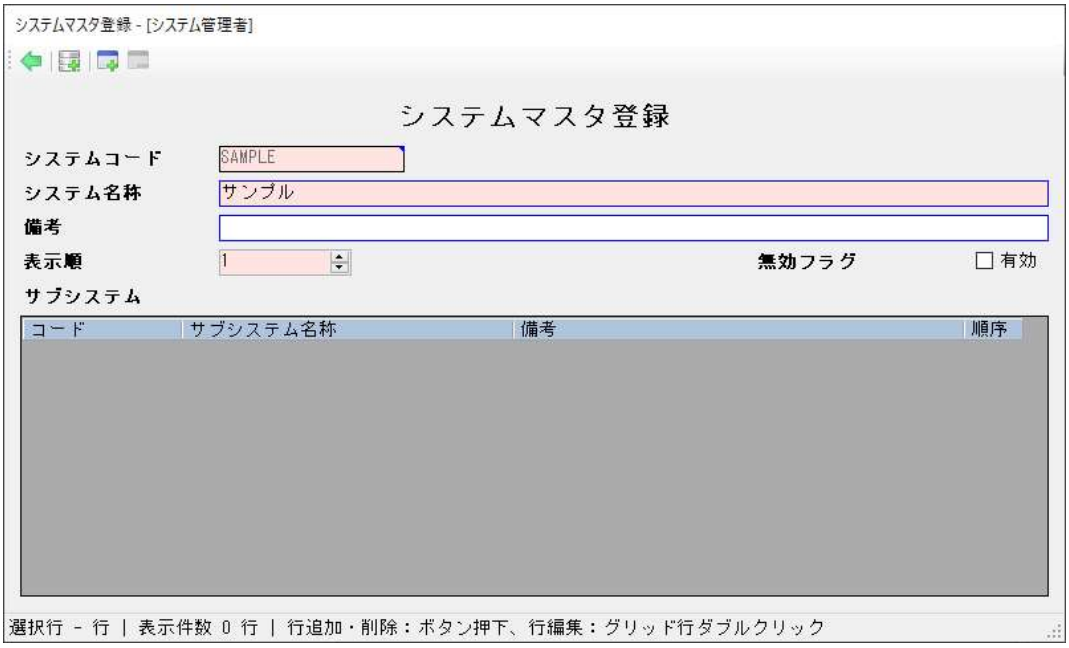
3. 既存システムの分類、部署単位などでシステムマスタ情報を入力して登録する。



4. 登録したシステムに紐づくサブシステム情報を連続して登録する場合は「はい」をクリックする。



5. 「行追加」ボタンをクリックして「サブシステムマスタ登録」画面を起動する。



特記事項

システムコードが確定したことにより編集不可になる。

「行追加」ボタンがクリック可能になる。

6. 既存システムの名称、業務単位などでサブシステムマスタ情報を入力して登録する。

② ユーザマスタ

1. 「メインメニュー」の「ユーザマスタ」ボタンをクリックして「ユーザマスタ一覧」画面を起動する。

特記事項

ADMIN ユーザは表示しない。

2. 「行追加」ボタンをクリックして「ユーザマスタ登録」画面を起動する。

3. プログラムシステムを管理する方のユーザＩＤを入力して登録する。

特記事項

管理者フラグにチェックを入れて管理者として登録する。

⚠ 特記事項

ＩＤ作成直後もしくはパスワード初期化直後のユーザは行全体を赤く表示する。

ADMIN ユーザは表示しない。

登録したユーザＩＤにてログインすると画面のタイトルバーにユーザ名を表示する。

一般ユーザ権限でログインするとメニュー上に「システム基本情報」を表示せず実行できない。

③ 環境設定マスタ

1. 「メインメニュー」の「環境設定マスタ」ボタンをクリックして「環境設定マスタ一覧」画面を起動する。

2. 設定区分：フォルダーの各項目を設定する。

値の設定方法には以下の種類がある。

・絶対パス：ドライブ名から指定し、階層構造の頂点から目的地までの経路を表すパス。

Ex) C:¥PrintManager¥DATA¥

ファイルサーバーの共有フォルダーも指定できる。

Ex) ¥¥FileServer¥Share¥DATA¥

・相対パス：現在のカレントパスを基準として、そこから相対的に判定するパス。

カレントパスが C:¥PrintManager であった場合に指し示すパス

Ex) .¥DATA¥

C:¥PrintManager¥DATA¥

Ex) ..¥DATA¥

C:¥DATA¥

※ この設定区分だけはデータの追加削除が可能です。

※ 同じデータ用フォルダーでもシステムごとに切り替えるなどいくつでも追加可能です。

※ 相対パスの具体的な指定方法については検索してください。

3. 設定区分：フォント名にて本プログラムシステムの出力時に使用するフォントを設定する。

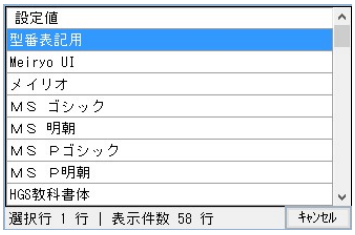
設定名称	設定値	順序
Impact	型番表記用	1
Meiryo UI	Meiryo UI	1
ＭＳ Ｐゴシック	ＭＳ Ｐゴシック	1
ＭＳ Ｐ明朝	ＭＳ Ｐ明朝	1
ＭＳ ゴシック	ＭＳ ゴシック	1
ＭＳ 明朝	ＭＳ 明朝	1
メイリオ	メイリオ	1
HGS教科書体	HGS教科書体	2
HGｺﾞｼｯｸE	HGｺﾞｼｯｸE	2
HGｺﾞｼｯｸM	HGｺﾞｼｯｸM	2
HG丸ｺﾞｼｯｸM-PRO	HG丸ｺﾞｼｯｸM-PRO	2
HG教科書体	HG教科書体	2
HG行書体	HG行書体	2
HG正楷書体-PRO	HG正楷書体-PRO	2

設定名称	設定値	順序
UD デジタル 教科書体 N-R	UD デジタル 教科書体 N-R	9
Yu Gothic UI	Yu Gothic UI	9
Yu Gothic UI Light	Yu Gothic UI Light	9
Yu Gothic UI Semibold	Yu Gothic UI Semibold	9
Yu Gothic UI Semilight	Yu Gothic UI Semilight	9
Agency FB	Agency FB	99
Algerian	Algerian	99
Arial	Arial	99
Arial Black	Arial Black	99
Arial Narrow	Arial Narrow	99
Arial Rounded MT Bold	Arial Rounded MT Bold	99
Arvo	Arvo	99
Bahnschrift	Bahnschrift	99
Bahnschrift Condensed	Bahnschrift Condensed	99

※ あらかじめ一般的な書体を設定してあるので不要なものを取り除き、必要なものを加える。

※ 任意の名称を設定することができる。

※ 後述する帳票項目データ登録画面のフォント選択で以下のように使用する。



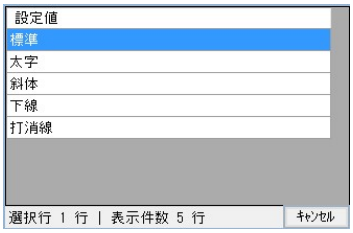
4. 設定区分：フォントスタイルにて本プログラムシステムの出力時に使用するフォントスタイルを設定する。

設定名称	設定値	順序
標準	標準	0
太字	太字	1
斜体	斜体	2
下線	下線	3
打消線	打消線	4
斜体+打消線	斜体+打消線	99
太字+斜体+打消線	太字+斜体+打消線	99
下線+打消線	下線+打消線	99
太字+下線+打消線	太字+下線+打消線	99
斜体+下線+打消線	斜体+下線+打消線	99
太字+斜体+下線+打消線	太字+斜体+下線+打消線	99
太字+斜体	太字+斜体	99
太字+下線	太字+下線	99
斜体+下線	斜体+下線	99

※ あらかじめ一般的なスタイルを設定してあるので不要なものを取り除き、必要なものを加える。

※ 任意の名称を設定することができる。

※ 後述する帳票項目データ登録画面のフォント選択で以下のように使用する。

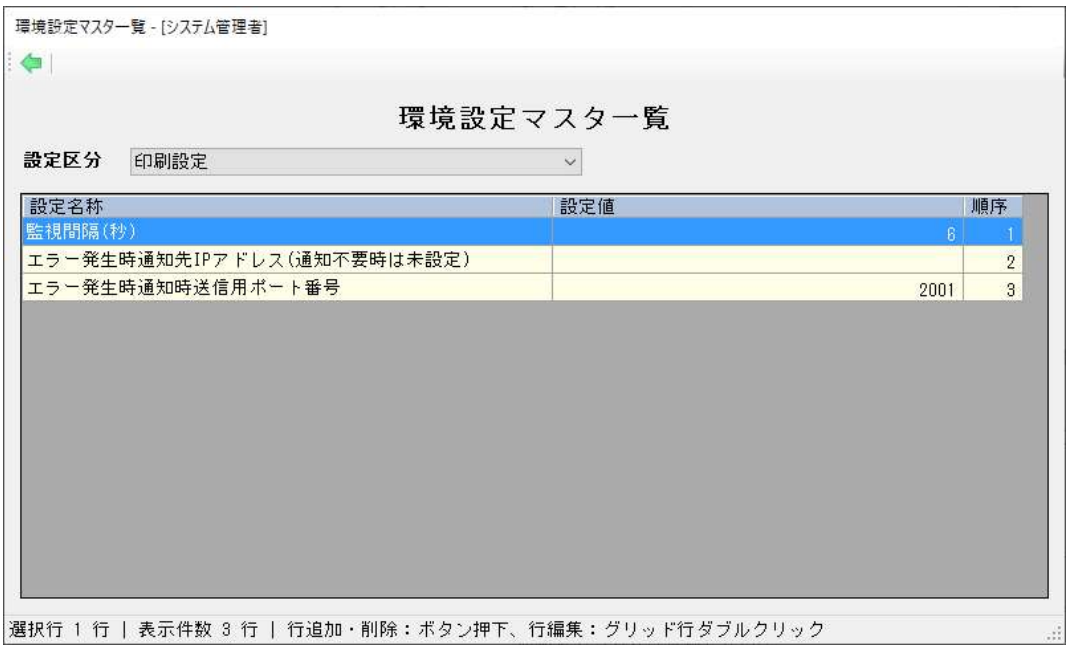


5. 設定区分：パスワード設定にてログイン時のパスワードポリシーを設定する。

設定名称		設定値	順序
有効期限	(0：未設定、1以上：有効日数)	0	0
下限桁数	(4以上)	4	1
上限桁数	(36以下)	16	2
数字桁数	(0：未設定、1以上：必要桁数)	0	3
大文字桁数	(0：未設定、1以上：必要桁数)	0	4
小文字桁数	(0：未設定、1以上：必要桁数)	0	5
記号桁数	(0：未設定、1以上：必要桁数)	0	6

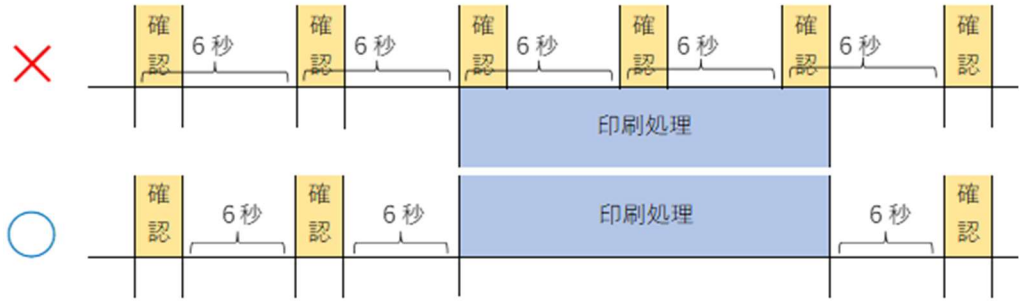
・有効期限：パスワード設定日からの有効期限
　　指定しない場合は 0 を指定する。
・下限桁数：パスワードの最短桁数
　　１以上の値を設定する。
・上限桁数：パスワードの最長桁数
　　１以上の値を設定する。
・数字桁数：パスワード中に含めなければならない数字の桁数
　　指定しない場合は 0 を指定する。
・大文字桁数：パスワード中に含めなければならないアルファベット大文字の桁数
　　指定しない場合は 0 を指定する。
・小文字桁数：パスワード中に含めなければならないアルファベット小文字の桁数
　　指定しない場合は 0 を指定する。
・記号桁数：パスワード中に含めなければならない記号の桁数
　　※ 数字桁数＋大文字桁数＋小文字桁数＋記号桁数が上限桁数を超えないようにしてください。

6. 設定区分：印刷設定にて帳票印刷プログラムで使用する値を設定する。



・監視間隔：データファイルを監視する間隔（秒数）

確認をする間隔ではなく、確認・印刷後に次の確認を行うまでの間隔を指す。



・エラー発生時通知先 IP アドレス：エラー発生時に通知を送るＰＣの IP アドレス

通知不要であれば登録しない

Ex) 192.168.1.128

・エラー発生時通知時送信用ポート番号：「エラー検知プログラム」利用の際にエラー情報を通知するためのポート番号

エラー受信ＰＣにてポート番号を変更した場合に設定を変更する。

■ 運用データ編集

① データファイルマスタ

1. 「メインメニュー」の「データファイルデータ」ボタンをクリックして「データファイル一覧」画面を起動する。

帳票印刷プログラムがデータファイルを取り扱うにあたり取り扱う以下のファイルを、フォルダー名とファイル名の組み合わせで設定する。

・データファイル（必須項目で、プログラムシステム全体を通して重複不可）

印刷するデータを格納したファイル。

他システムから受け取る。

監視ファイルの設定がない場合は、データファイルを発見時にすぐ印刷を行う。

・監視ファイル

他システムがデータファイルを配置したことを通知するファイル。

他システムから受け取る。

・バックアップファイル

印刷が完了したデータファイルをリネームするファイル名。

・エラーファイル

印刷失敗時にデータファイルをリネームするファイル名。

・ログファイル

個々のデータファイルに対する印刷結果を出力するファイル名。

ファイルが大きくなりすぎないようにファイル名に処理年月などを加えることを推奨

※ 「情報画面起動」ボタンをクリックすることにより「ファイル名の指定方法説明」画面を起動してファイル名を

※ 実際の処理の流れは以下の通り。

1. 他システムよりデータファイル出力
2. 他システムより監視ファイル出力
3. 監視ファイルの存在を確認（以下帳票印刷プログラムによる処理）
   監視ファイルの設定がなければデータファイルを監視
4. データファイルをエラーファイルとしてリネーム
5. エラーファイルを読み込み印刷処理実施
6. エラーファイルをバックアップファイルにリネーム
7. ログファイル追記

⚠ **特記事項**

試用期間中はデータの追加・削除と、あらかじめ用意されたサンプルデータの編集はできない。

② 印字項目マスタ

1. 本プログラムシステムで印字する各文字列と印字属性を結びつけるための項目名を設定する。

コード	印字項目名称	備考	順序
CAP_KANBAN_TITLE	表題_引き取りかんばん		1
CAP_TANABAN	表題_棚番号		2
TANABAN	棚番号		3
CAP_SEBANGOU	表題_背番号		4
SEBANGOU	背番号		5
CAP_HINBAN	表題_品番		6
HINBAN	品番		7
CAP_HINMEI	表題_品名		8
HINMEI	品名		9
CAP_KISYU	表題_機種		10
KISYU	機種		11
CAP_SYUYOSU	表題_収容数		12
SYUYOSU	収容数		13
CAP_YOKI	表題_容器		14

特記事項

本画面ではシステム、サブシステムの選択項目に「共通」が現れる。

個々の帳票定義内では以下の印字項目が利用できる。

システム	サブシステム	利用可否	用途
共通	共通	可	本プログラムシステム全体で使用する項目を設定する。
自システム	共通	可	本システム内で使用する項目を設定する。
	自サブシステム	可	本サブシステム内でのみ使用する項目を設定する。
	他サブシステム	不可	
他システム	共通	不可	
	他サブシステム	不可	

特記事項

試用期間中はシステム、サブシステムの選択項目に「共通」が現れない。

③ 帳票レイアウトデータ

1. 「メインメニュー」の「帳票レイアウトデータ」ボタンをクリックして「帳票レイアウトデータ一覧」画面を起動する。

特記事項

試用期間中はデータの追加・削除は不可のため、あらかじめ用意されたサンプルデータを編集する。

2. 「行追加」ボタンをクリックして「帳票レイアウトデータ登録」画面を起動する。

3. レイアウトの情報を入力して登録する。

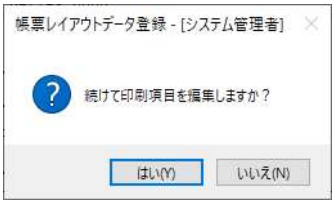
特記事項

「プリンター」は、システム稼働ＰＣ上にセットアップされているものの中から選択する。

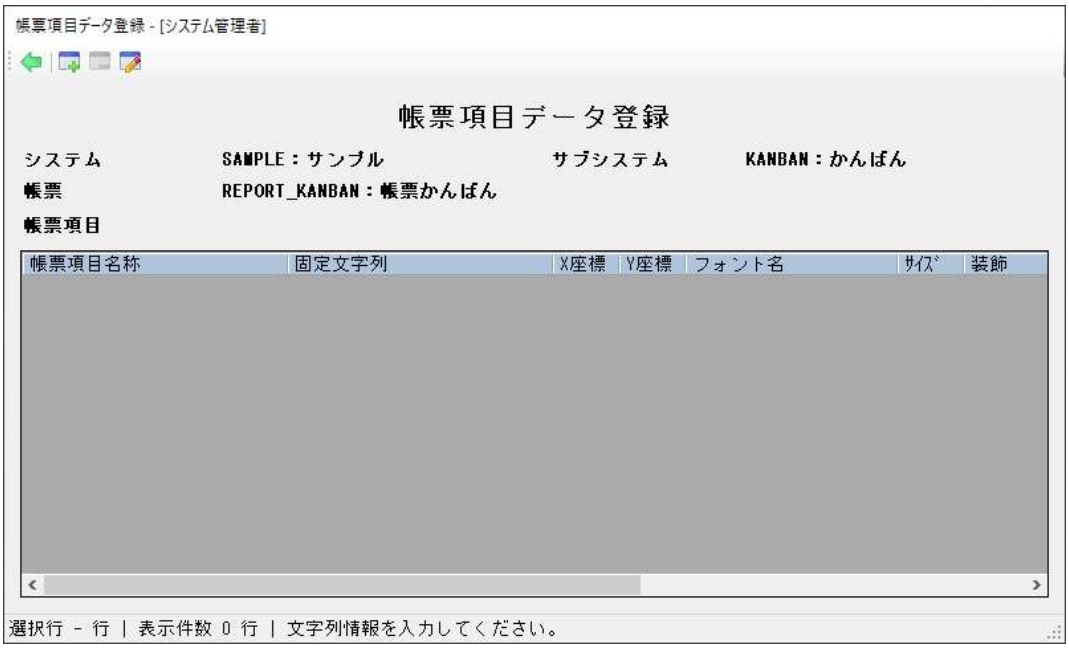
用紙サイズは選択した「プリンター」に登録されているものの中から選択する。

データファイルなどは、「ファイル選択」ボタンをクリックして「データファイル選択」画面から選択する。

4. 登録した帳票に紐づく印刷項目を連続して登録する場合は「はい」をクリックする。



5. 「文字列」ボタンをクリックして「帳票項目データ登録」画面を起動する。



6. 「行追加」ボタンをクリックしてグリッド上にレコードを１行追加する。

特記事項

セル背景色の意味については、「共通項目」の「グリッド上のセルの直接編集画面でのセル色」参照

7. 「帳票項目名称」をダブルクリックして起動した選択画面から任意の値を選択する。

8. 必要に応じて固定文字列を入力する。

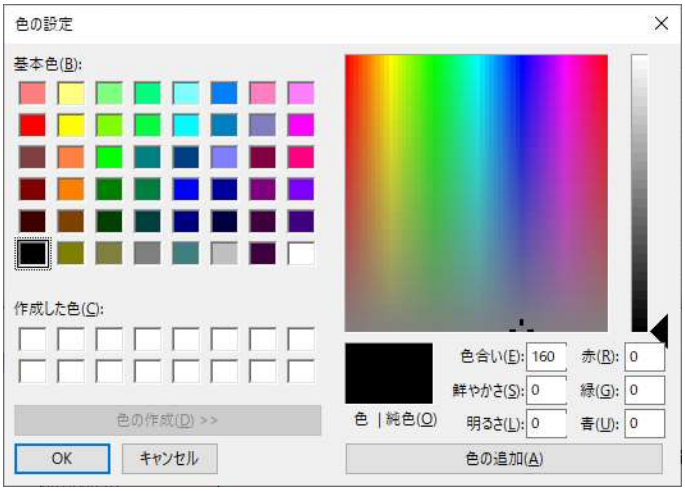
特記事項

本項目は固定文字列として印刷する。

本項目をブランクにすることによりデータファイルの値をセットする。

9. 印刷する用紙の左上を起点として文字列を出力するＸ座標、Ｙ座標をミリ（近似値）で指定する。

10. フォント情報(フォント名・サイズ・装飾・文字色)を指定する。



⚠ **特記事項**

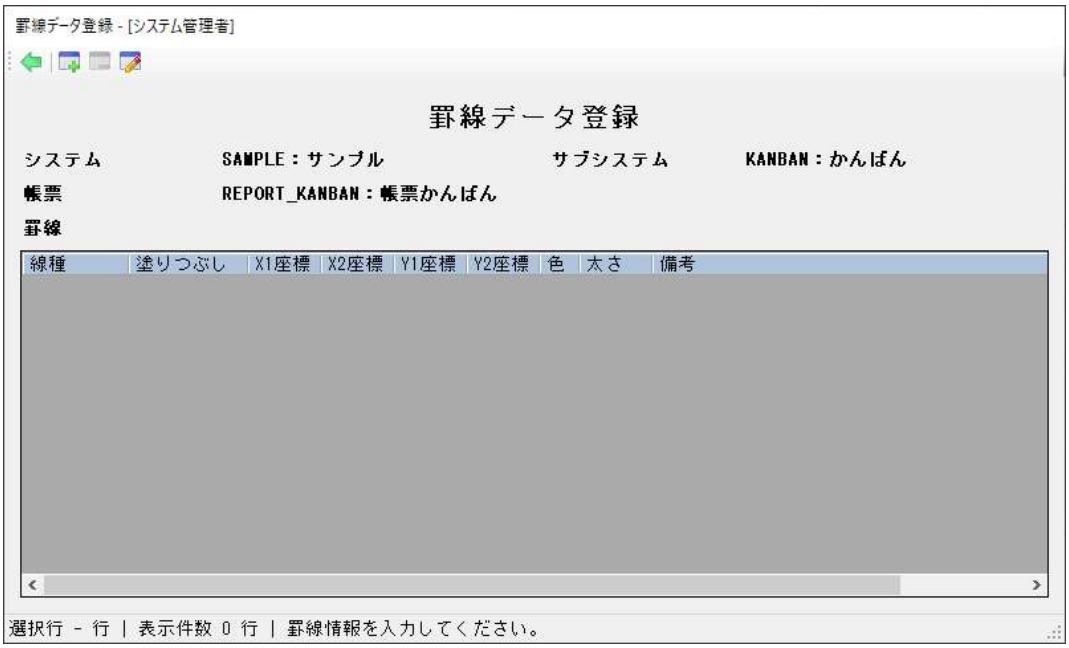
文字色はダイアログから選択する。

11. 必要に応じて「備考」・「順序」・「無効フラグ」を指定する。

12. 「行登録」ボタンをクリックしてデータを登録する。

帳票項目名称	固定文字列	X座標	Y座標	フォント名	ｻｲｽﾞ	装飾
表題_引き取りかんばん	引き取りかんばん	78	3	游ゴシック	36	太字
表題_棚番号	棚番号：	1	26	游ゴシック	26	太字
棚番号		39	28	OCRB	28	標準
表題_背番号	背番号：	98	26	游ゴシック	26	太字
背番号		136	28	OCRB	28	標準
表題_品番	品番：	1	47	游ゴシック	26	太字
品番		39	49	OCRB	28	標準
表題_品名	品名：	1	68	游ゴシック	26	太字
品名		39	68	游ゴシック	26	標準
表題_機種	機種：	1	89	游ゴシック	26	太字
機種		39	91	OCRB	28	標準

13. 「帳票レイアウトデータ登録」画面に戻ったら、必要に応じて罫線情報を登録する。
「罫線」ボタンをクリックして「罫線データ登録」画面を起動する。



14. 「行追加」ボタンをクリックしてグリッド上にレコードを１行追加する。

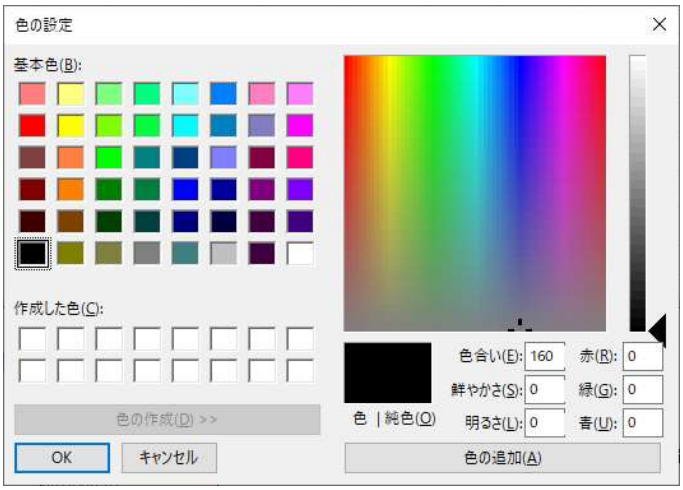
15. 「線種」列のセルをダブルクリックして起動した選択画面から任意の値を選択する。

16. 「線種」が四角形の場合は「塗りつぶし」列のセルをダブルクリックして起動した選択画面から任意の値を

選択する。

17. 印刷する用紙の左上を起点として罫線を出力する始点（Ｘ１座標、Ｙ１座標）と終点（Ｘ２座標、Ｙ２座標）をミリ（近似値）で指定する。

18. 線の色と太さを指定する。



特記事項

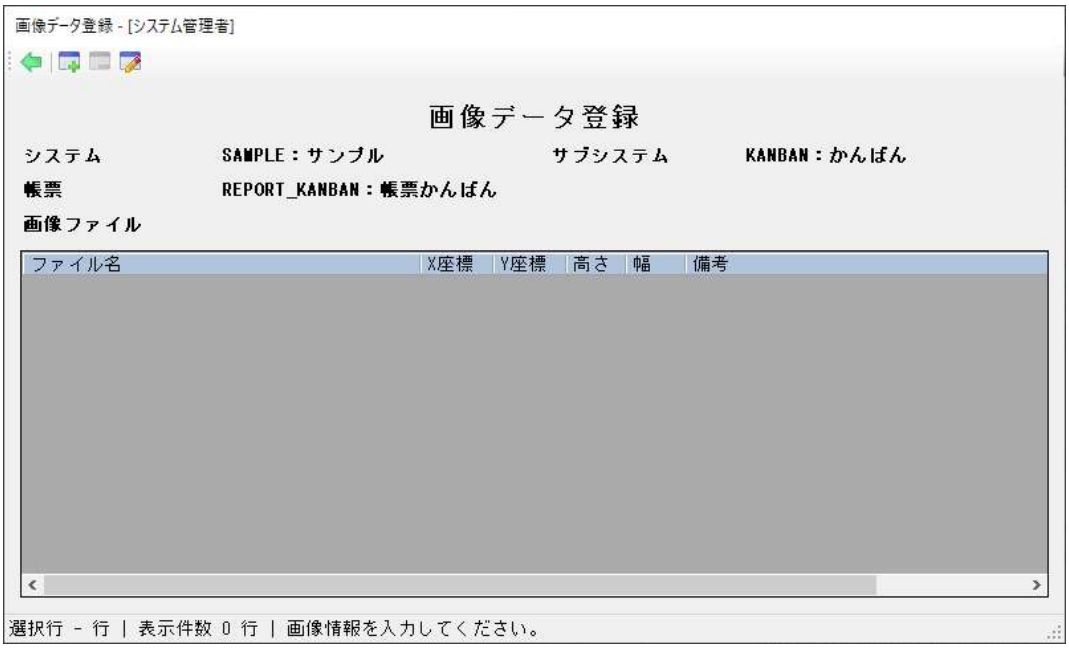
線色はダイアログから選択する。

19. 必要に応じて「備考」・「順序」・「無効フラグ」を指定する。

20. 「行登録」ボタンをクリックしてデータを登録する。

線種	塗りつぶし	X1座標	X2座標	Y1座標	Y2座標	色	太さ	備考
四角形	線のみ	0	205	21	63		3	
罫線		0	205	42	42		1	
罫線		97	97	21	42		1	
四角形	線のみ	0	205	63	105		3	
罫線		0	205	84	84		1	
四角形		0	205	126	147		0	
四角形	線のみ	0	205	126	168		3	
罫線		0	205	147	147		1	
罫線		48	48	126	168		1	
罫線		97	97	126	168		1	
四角形		215	260	21	42		0	

21. 「帳票レイアウトデータ登録」画面に戻ったら、必要に応じて画像情報を登録する。
「画像」ボタンをクリックして「画像データ登録」画面を起動する。



22. 「行追加」ボタンをクリックしてグリッド上にレコードを 1 行追加する。

23. 「ファイル名」をダブルクリックして起動したダイアログから任意の画像ファイルを選択する。

24. 印刷する用紙の左上を起点として画像を出力するＸ座標、Ｙ座標をミリ（近似値）で指定する。

25. 必要に応じて画像の高さもしくは幅をミリ（近似値）で指定する。

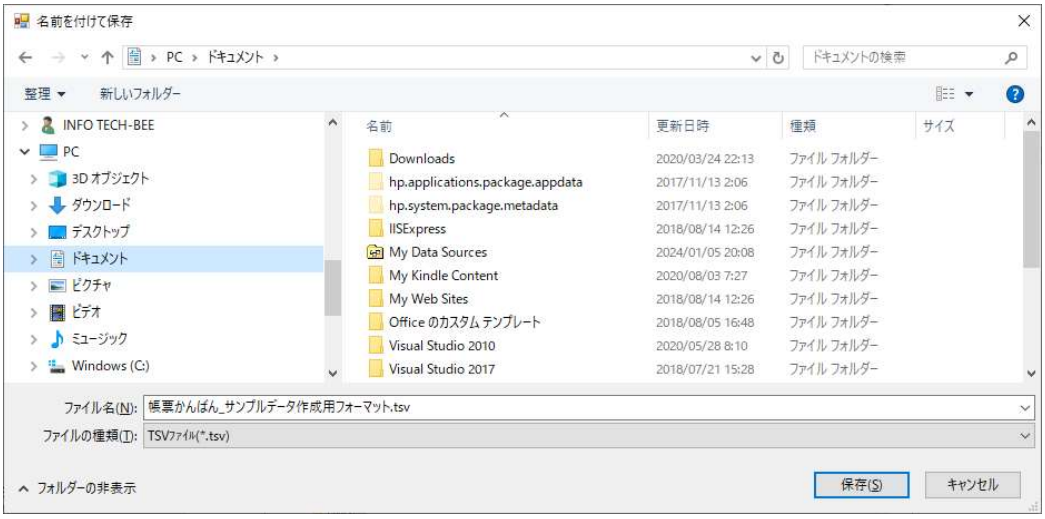
⚠ **特記事項**

高さ、幅を指定しない（０値）場合は原寸大の画像を印刷する。
高さを指定した場合、画像を指定の高さを基準にして拡大縮小する。
幅を指定した場合、画像を指定の幅を基準にして拡大縮小する。

26. 必要に応じて「備考」・「順序」・「無効フラグ」を指定する。

27. 「行登録」ボタンをクリックしてデータを登録する。

28. 「帳票レイアウトデータ登録」画面に戻ったら「書式ファイルダウンロード」ボタンをクリックして、作成した帳票レイアウトに対するデータ書式ファイルを出力する。



⚠ **特記事項**

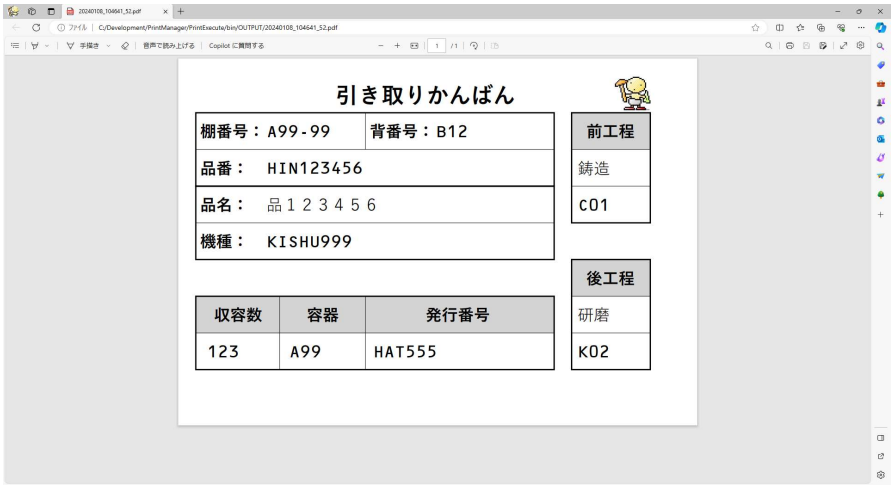
出力先フォルダーは特に制御していないため直前に指定したフォルダーが初期値となる。

ファイル名は以下の書式を初期値とする。

[帳票名称]_サンプルデータ作成用フォーマット.tsv

出力内容については「データファイル仕様」参照。

29. 出力サンプル



④ 差し込みレイアウトファイルマスタ

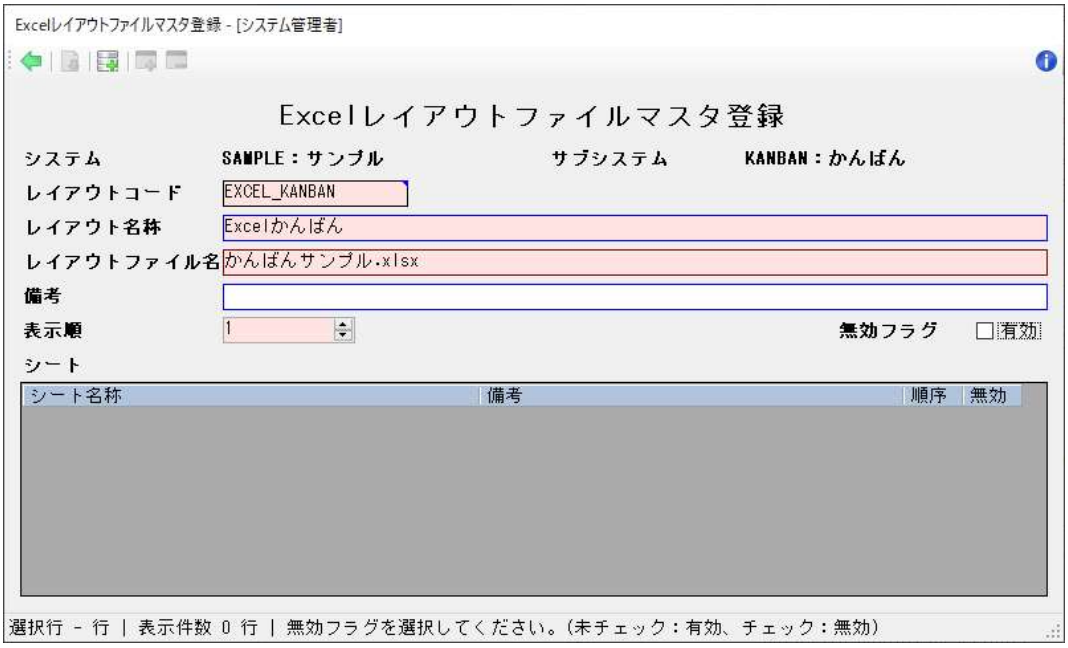
1. 「メインメニュー」の「差し込みレイアウトファイルマスタ」ボタンをクリックして「差し込みレイアウトファイルマスター一覧」画面を起動する。

特記事項

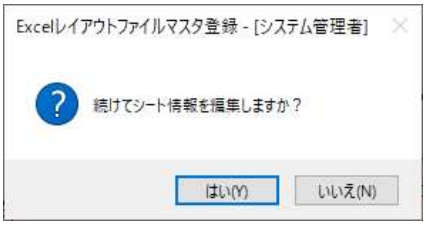
試用期間中はデータの追加・削除は不可のため、あらかじめ用意されたサンプルデータを編集する。

2. 「Excel 追加」ボタンをクリックして「Excel レイアウトファイルマスタ登録」画面を起動する。

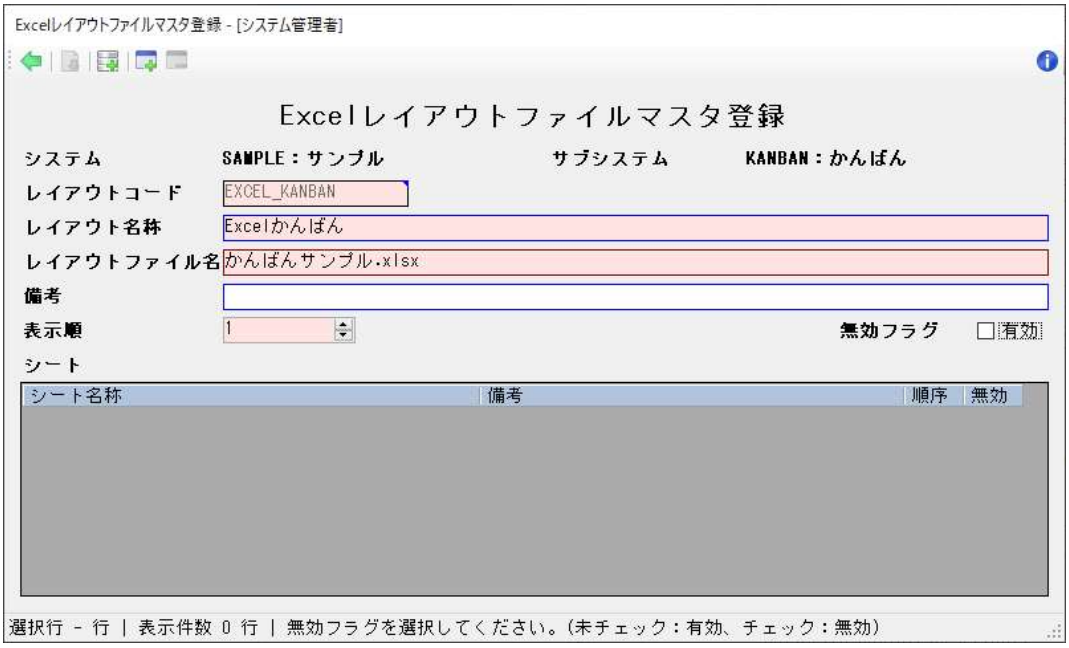
3. レイアウトの情報を入力して登録する。



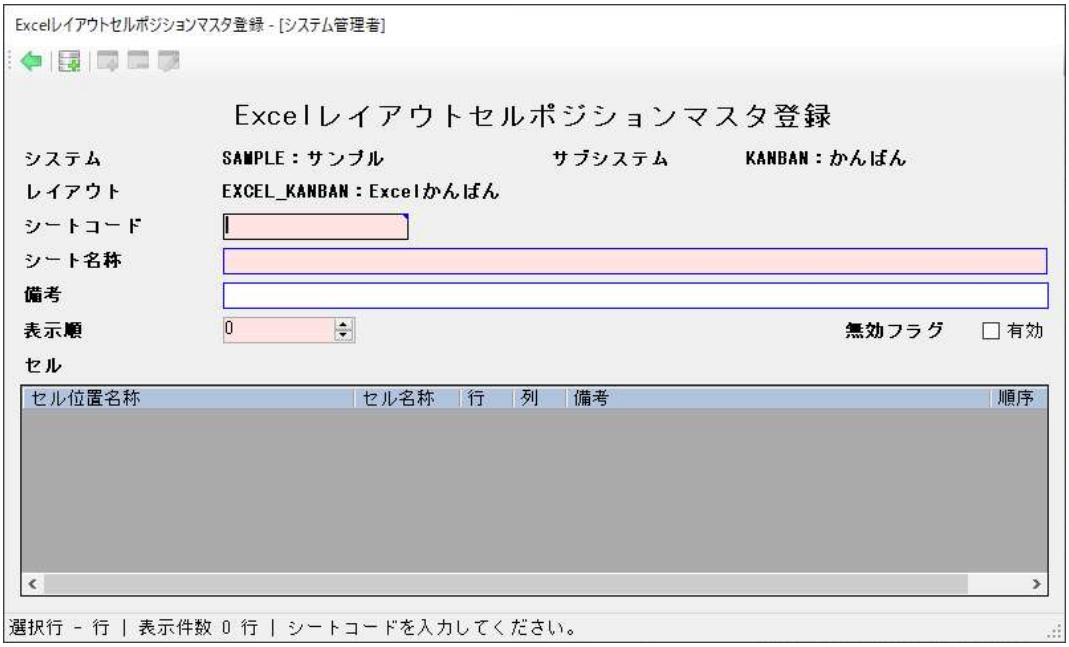
4. 登録した帳票に紐づく印刷項目を連続して登録する場合は「はい」をクリックする。

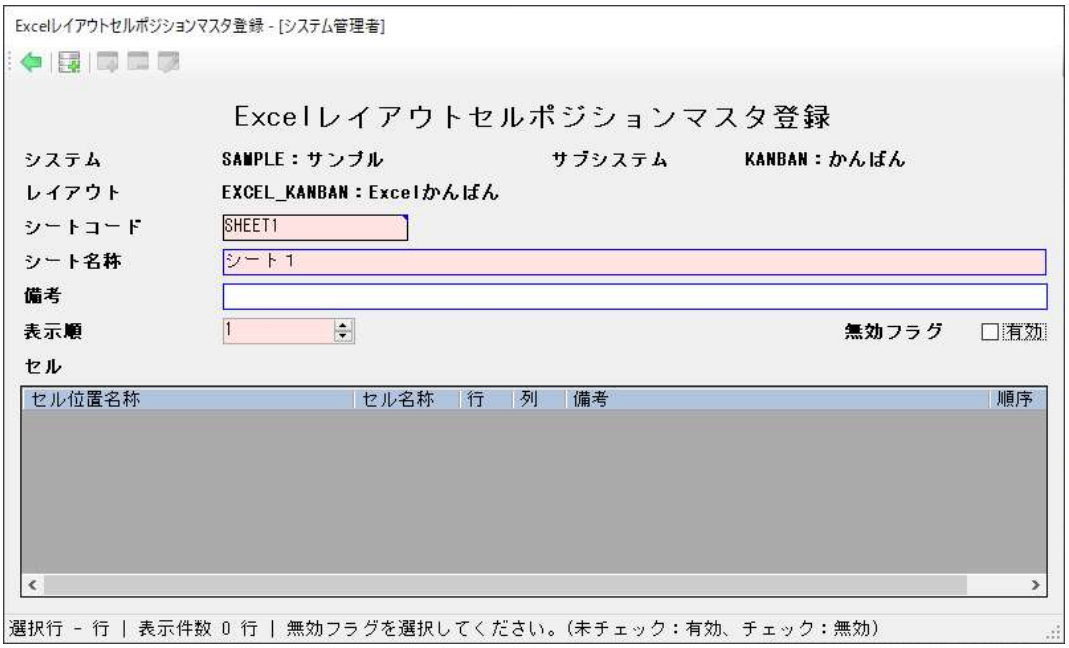


5. 「行追加」ボタンをクリックして「Excel レイアウトセルポジションマスタ登録」画面を起動する。

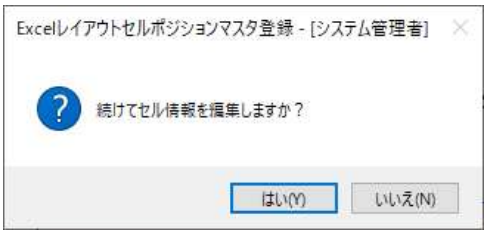


6. レイアウトファイル中のシート名を入力して登録する。

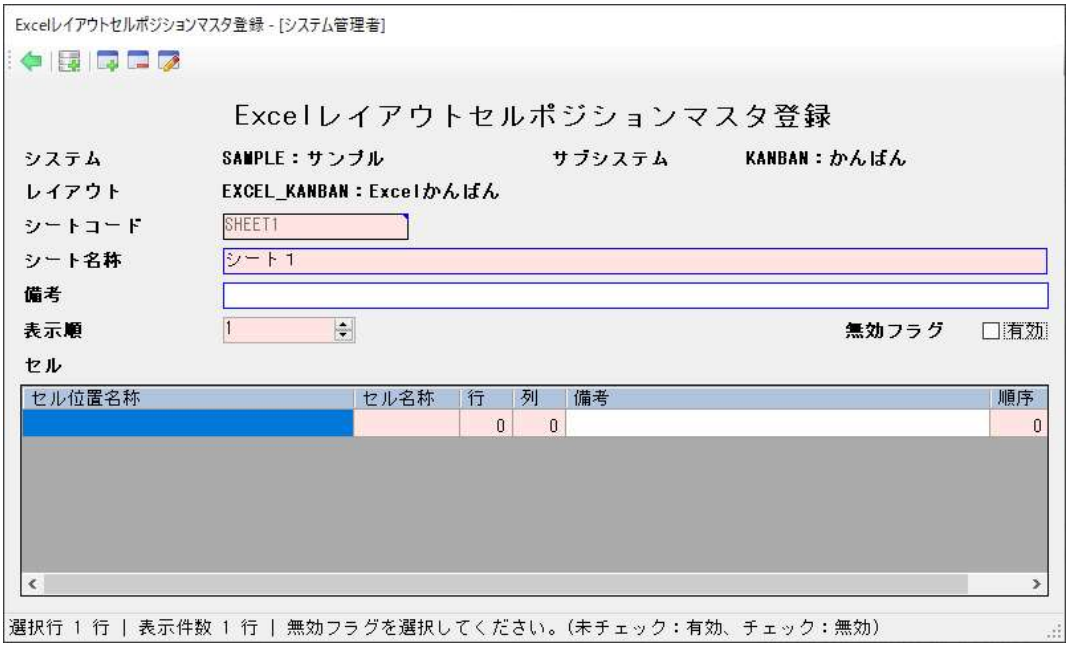




7. 登録したシートに紐づくセル情報を連続して登録する場合は「はい」をクリックする。



8. 「行追加」ボタンをクリックしてグリッド上にレコードを 1 行追加する。



9. 「セル位置名称」をダブルクリックして起動した選択画面から任意の値を選択する。

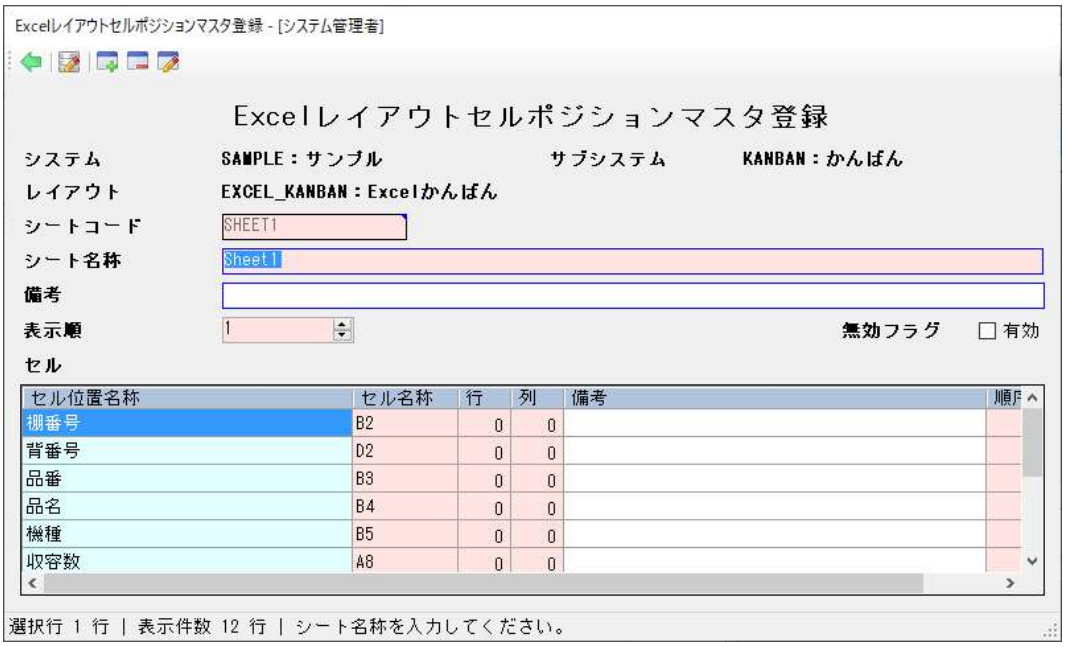
10. セル名称もしくは行列を入力する。

特記事項

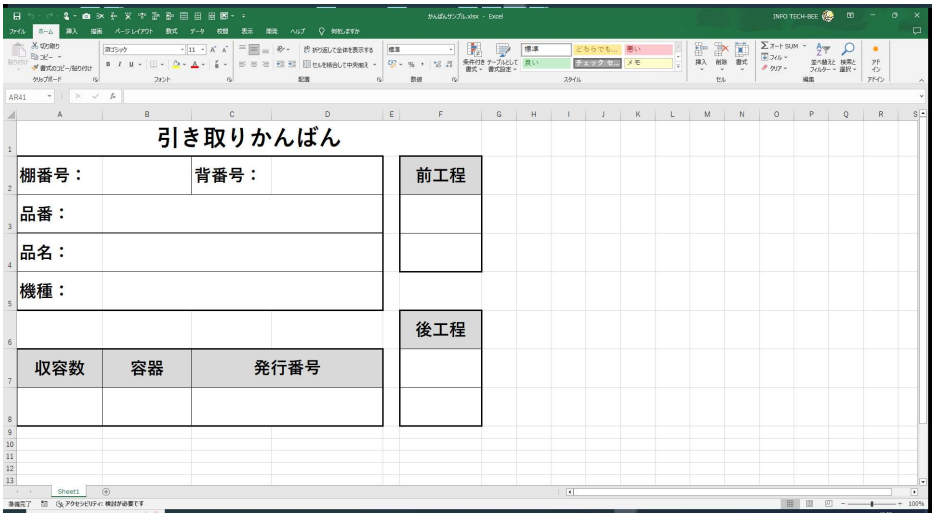
セル名称とは、A1 などのセル番地もしくは、Excel 上で特定のセルにつけた名前を指す。
行列は、行：1・列：1 であれば A1 のことを指す。
セル名称を指定した場合は行列の指定は無視する。

11. 必要に応じて「備考」・「順序」・「無効フラグ」を指定する。

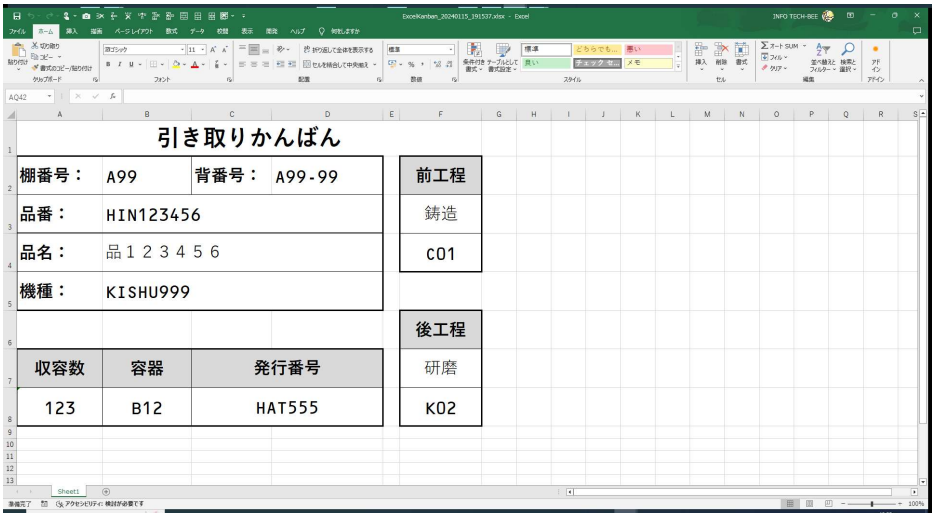
12. 「行登録」ボタンをクリックしてデータを登録する。



13. Excel レイアウトファイル

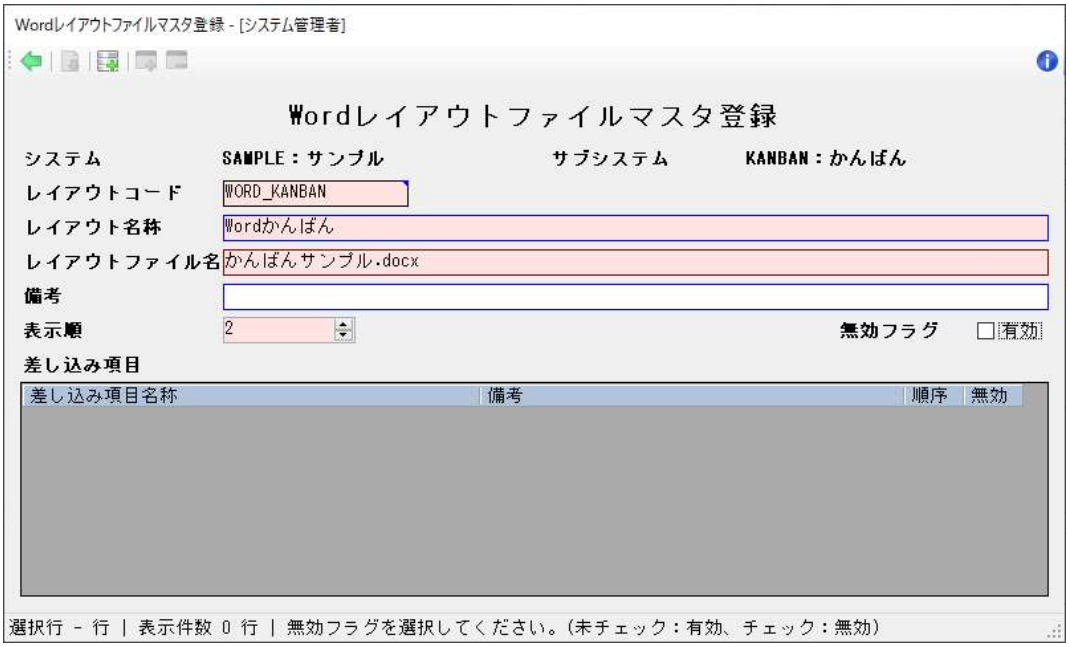


14. Excel 出力サンプル

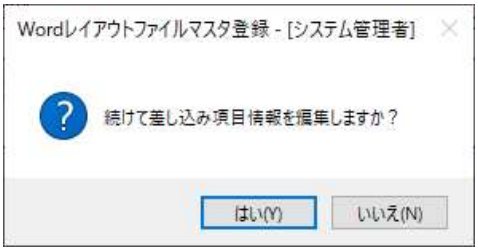


15. 「Word 追加」ボタンをクリックして「Word レイアウトファイルマスタ登録」画面を起動する。

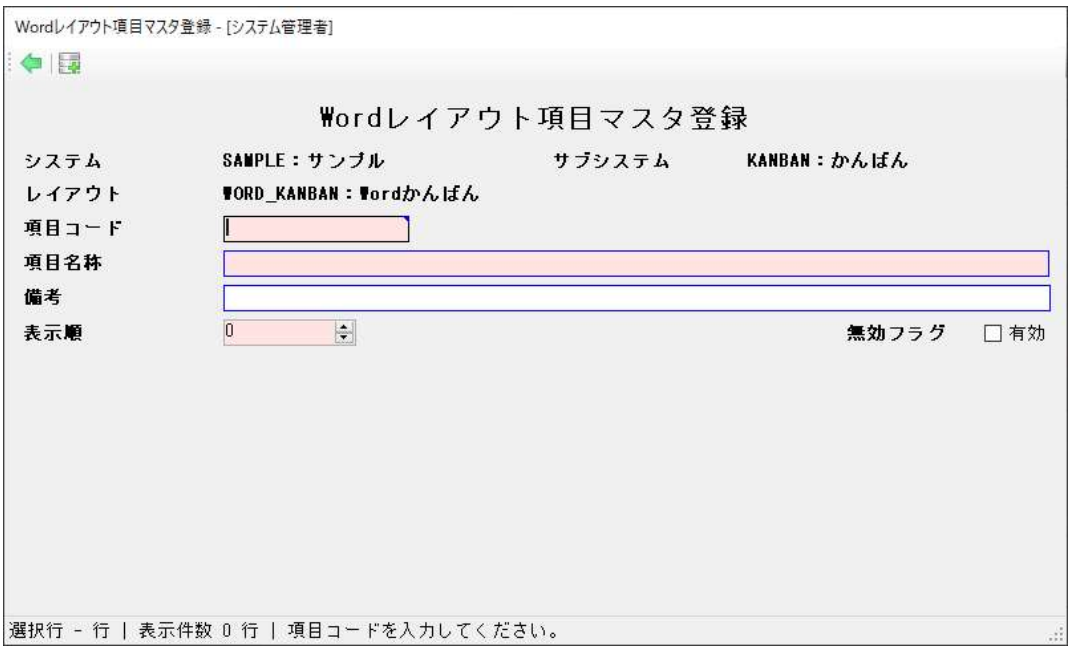
16. レイアウトの情報を入力して登録する。



17. 登録した帳票に紐づく印刷項目を連続して登録する場合は「はい」をクリックする。

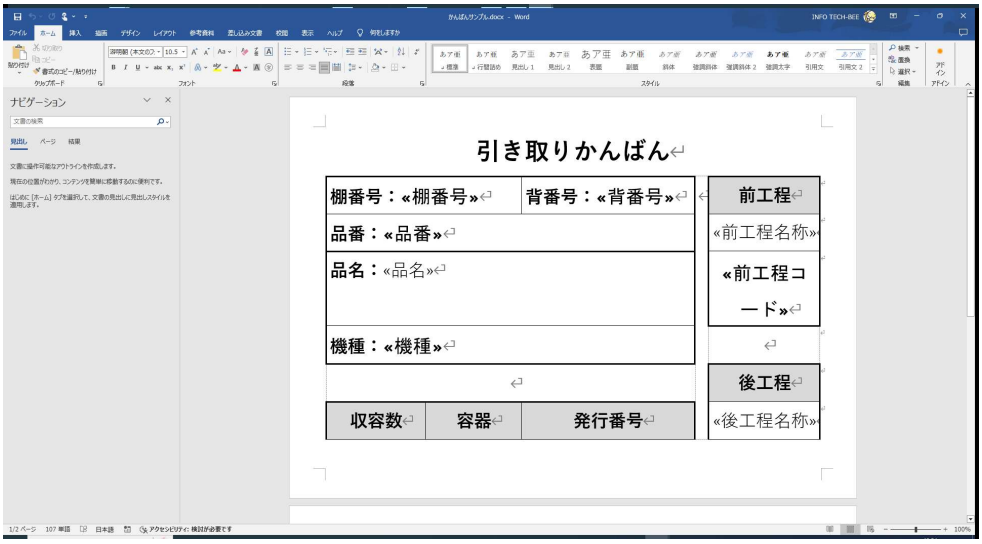


18. 「行追加」ボタンをクリックして「Word レイアウト項目マスタ登録」画面を起動する。



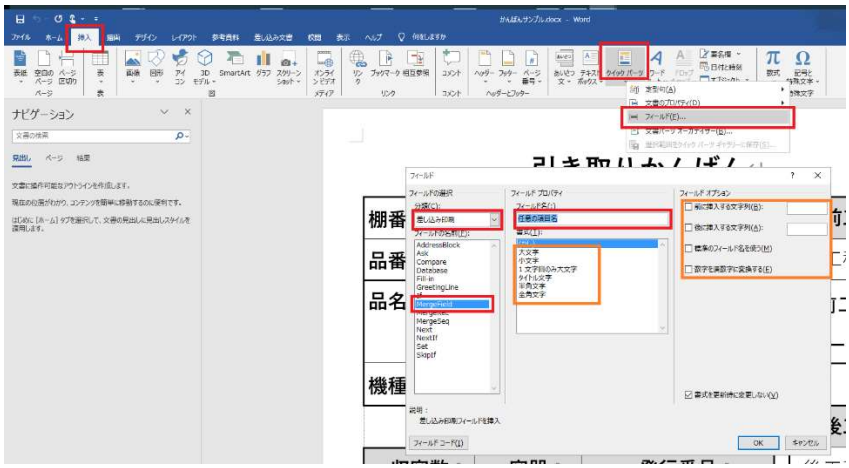
19. 必要項目を入力して登録する。

20. Word レイアウトファイル



⚠️ 特記事項

Word 文書に差し込み印刷枠を挿入するには以下の処理を行う。



① リボンから「挿入」を選択

② 「クイックパーツ」を選択

③ 「フィールド」を選択

④ 分類：差し込み印刷

⑤ フィールドの名前：MergeField

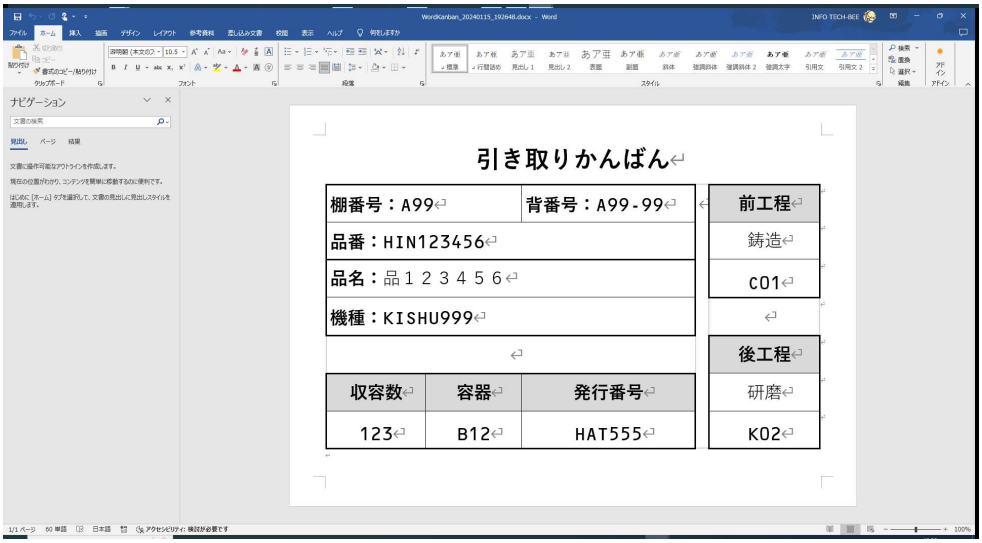
⑥ フィールド名：任意の名称

（本プログラムシステムで定義した項目名称と紐づける）

⑦ 必要に応じて書式・フィールドオプションを指定

⑧ 「OK」

21. Word 出力サンプル



⑤ 差し込み帳票データ

1. 「メインメニュー」の「差し込み帳票データ」ボタンをクリックして「差し込み帳票データ一覧」画面を起動する。

特記事項

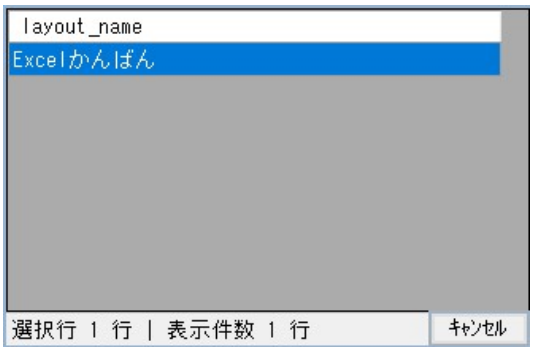
試用期間中はデータの追加・削除は不可のため、あらかじめ用意されたサンプルデータを編集する。

2. 「Excel 追加」ボタンをクリックして「Excel 帳票データ登録」画面を起動する。

3. 出力帳票の情報を入力して登録する。

特記事項

・レイアウトファイルについて、フォルダー名とレイアウトファイル名を選択する。



・出力先ファイル名は入力する。

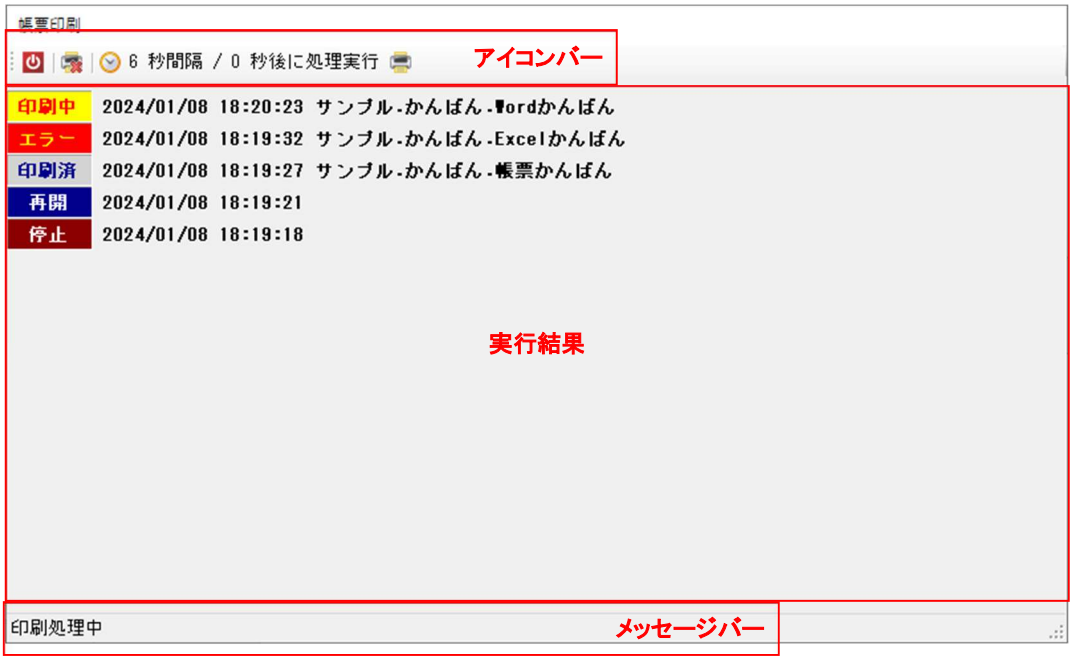
・データファイルなどは、「ファイル選択」ボタンをクリックして「データファイル選択」画面から選択する。

4. 「Word 追加」ボタンをクリックして「Word 帳票データ登録」画面を起動する。

5. 出力帳票の情報を入力して登録する。

帳票印刷プログラム

■ 画面仕様



アイコンバー

画面のタイトル下に配置されていて、必要に応じて表示、活性・非活性化する。

：プログラム終了

：印刷一時停止

印刷処理を一時中断し、他システムからデータファイルが配置されても処理を行わない。

ただし、印刷処理中の場合は処理中のデータファイルの印刷が終了してから適用する。

：印刷再開(一時停止中のみ表示)

：監視間隔変更

n 秒間隔：監視間隔(秒)

「帳票定義編集」プログラム「環境設定マスタ」画面の印刷設定にて指定した「監視間隔(秒)」を初期値とする

「印刷間隔変更」ボタンクリックにより指定した秒数に一時的（帳票印刷プログラムを終了するまで）に変更することができる。

n 秒後に処理実行：次回印刷実行までの秒数

：即時印刷実行

実行結果

常に最新の情報を一番上に表示する。

印刷中 ：印刷データの各行ごとに印刷もしくはファイル出力を開始した状態

印刷済 ：印刷データの各行ごとに印刷もしくはファイル出力が完了した状態

※　クリックにより当該帳票に関連する「フォルダー一覧」画面を開く。

エラー ：印刷もしくはファイル出力中に何らかのエラーが発生し処理を中断した状態

※　クリックにより当該帳票に関連する「フォルダー一覧」画面を開く。

停止 ：印刷一時停止ボタンをクリックした状態

再開 ：印刷再開ボタンをクリックした状態

メッセージバー

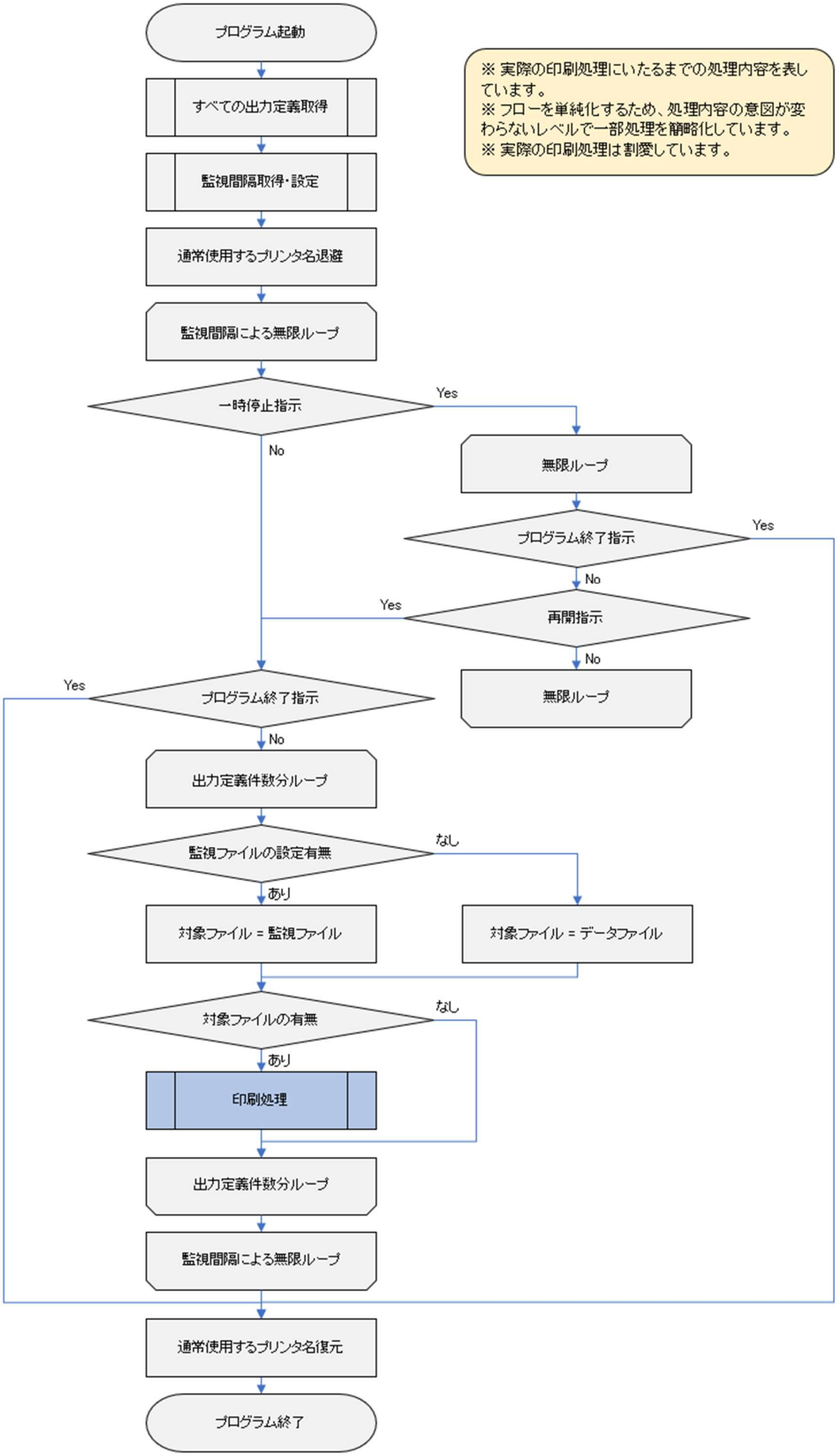
以下の状態を表示する

印刷待機中：プログラム起動時、印刷処理終了後、監視再開後

印刷処理中：印刷処理開始時

監視停止中：印刷一時停止時

■ 処理フロー


プログラム起動
すべての出力定義取得
監視間隔取得・設定
通常使用するプリンタ名退避
監視間隔による無限ループ
一時停止指示
Yes
No
無限ループ
プログラム終了指示
Yes
No
再開指示
Yes
No
無限ループ
プログラム終了指示
Yes
No
出力定義件数分ループ
監視ファイルの設定有無
なし
あり
対象ファイル = 監視ファイル
対象ファイル = データファイル
対象ファイルの有無
なし
あり
印刷処理
出力定義件数分ループ
監視間隔による無限ループ
通常使用するプリンタ名復元
プログラム終了
※ 実際の印刷処理にいたるまでの処理内容を表しています。
※ フローを単純化するため、処理内容の意図が変わらないレベルで一部処理を簡略化しています。
※ 実際の印刷処理は割愛しています。

■ 試用期間中の起動

① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。

② 試用期間の残日数を表示する。

⚠ **特記事項**

初回起動時から３０日間上記メッセージを表示する。

以下のうち実施する処理を選択する。

・プログラム起動：メインメニューを開く。

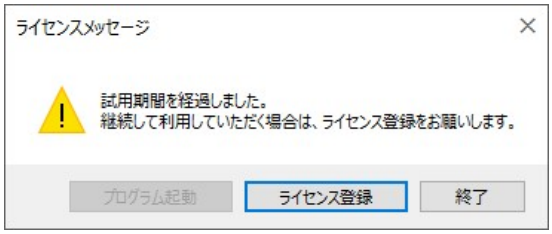
後述の「③「OK」ボタンをクリックすることによりメインメニューが起動する。」参照

・ライセンス登録：ライセンス登録画面を開く。

後述の「④ ライセンス登録ボタンをクリックしてライセンス登録をする。」参照

・終了：プログラムを終了する。

試用期間の残日数が０日以下になるとメッセージが以下の内容になりプログラムを起動することができなくなる。



③「プログラム起動」ボタンをクリックすることにより「帳票印刷」画面が起動する。

特記事項

試用期間中はタイトルバーに「試用期間中」の文字列を表示する。

■ ライセンス登録後の起動

① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。

②「帳票印刷」画面が起動する。

エラー検知プログラム

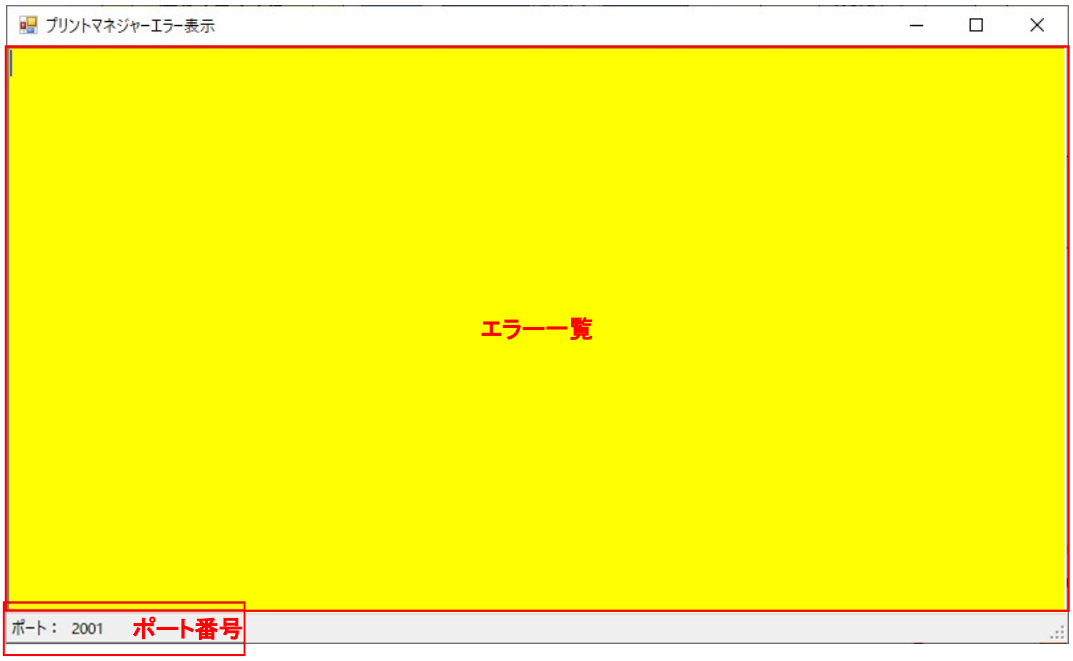
■ 概要

「帳票印刷プログラム」にて印刷処理実施時に発生したエラーを、本システム管理者が使用するＰＣにて受信する。

本プログラムシステムをサーバー上で運用する場合、エラーが発生してもそれを知ることができないために用意している。

検知の必要がない場合は使用の必要はない。

■ 画面仕様



エラー一覧

「帳票印刷プログラム」にて印刷処理実施時に発生したエラーを表示する。

常に最新の情報を上に表示する。

ポート番号

「帳票印刷プログラム」にて印刷処理実施時に発生したエラーを受信するためのポートを表示・設定する。

「ポート番号」をダブルクリックすると入力画面が現れ、任意のポート番号を設定すると一旦プログラムを終了するので改めて起動する。

※　初期値は 2001 で、他システムと競合する場合に変更する。

■ プログラムの起動

① プログラムファイルをマウスでダブルクリックする。

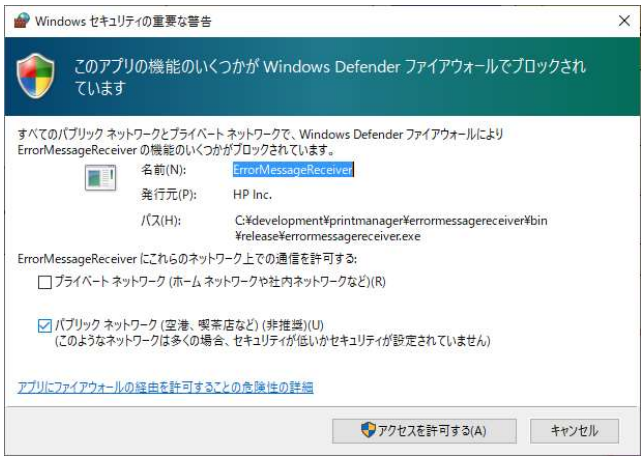
② 「プリントマネージャーエラー表示」画面が起動する。

⚠ **特記事項**

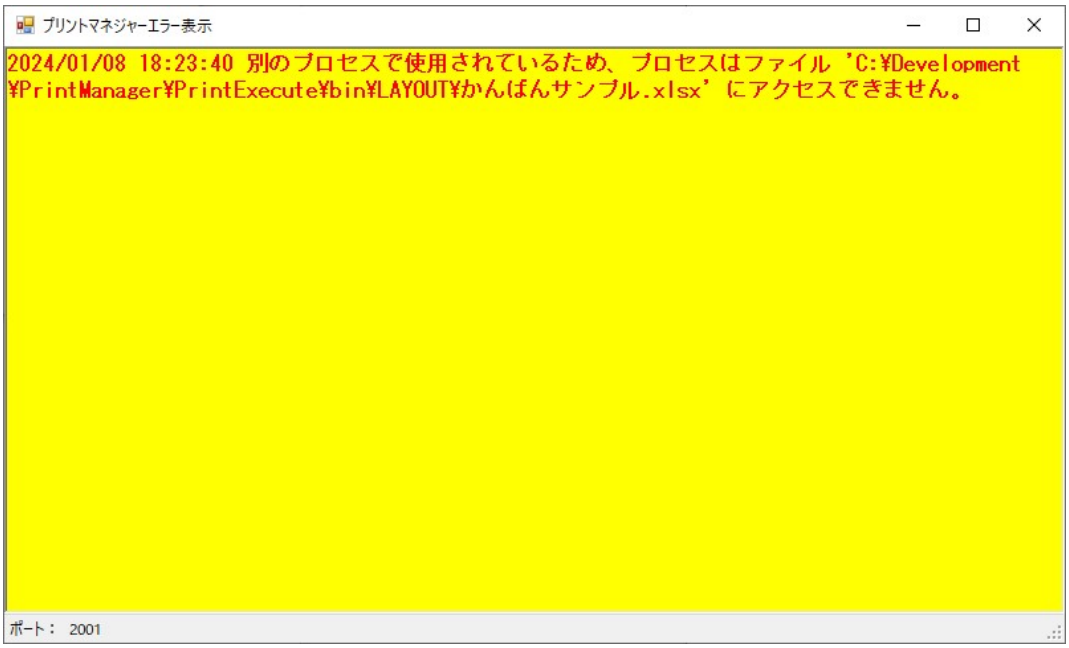
プログラム実行時は最小化状態で起動する。

エラーを受信するとエラー一覧にエラー内容を表示後通常サイズになり、エラー発生を通知する。

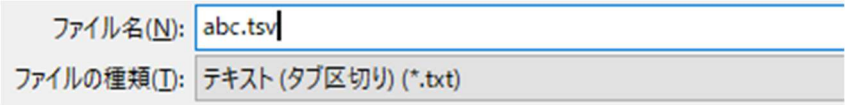
初回起動時および通信用ポート番号変更直後の起動時は以下の確認メッセージを表示するため「アクセスを許可する」ボタンをクリックする。



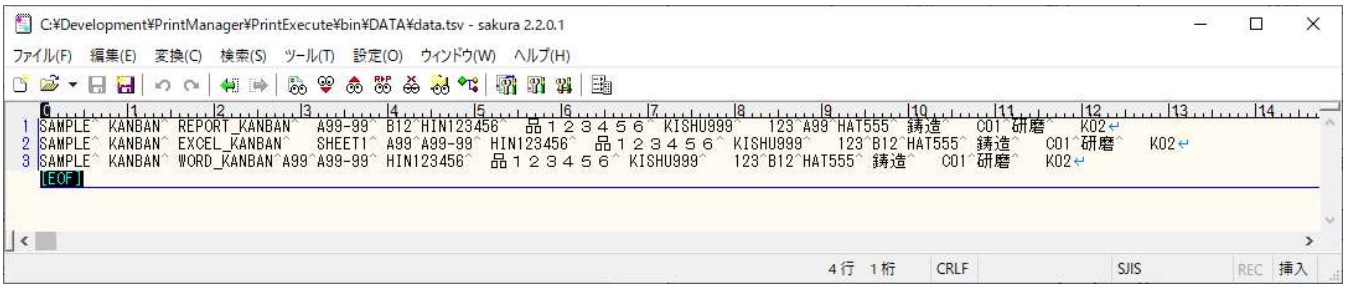
■ 通知例



データファイル仕様

基本項目	
文字コードセット	S-JIS
データ形式	TSV (Tab Separated Value) 複数の項目をタブ文字（ASCII コード 9 番の制御文字）で区切って一件のレコードを構成し、複数件のレコードを改行文字で区切ってデータ全体を構成するファイル。 Excel で編集したデータを保存する場合は、ファイルの種類：テキストファイル(タブ区切り)(*.txt)を選択し、保存時に拡張子を.tsv に変更する。 
備考	1 ファイル中に帳票データ、Excel 差し込みデータ、Word 差し込みデータが混在することが可能。 複数のシステム、サブシステムが混在することも可能。
帳票データ	
データ書式	[システムコード] [サブシステムコード] [帳票コード] [以後印字データ]
Excel 差し込みデータ	
データ書式	[システムコード] [サブシステムコード] [レイアウトコード] [シートコード] [以後印字データ]
Word 差し込みデータ	
データ書式	[システムコード] [サブシステムコード] [レイアウトコード] [以後印字データ]

■ サンプルデータ



1 行目：帳票データ

2 行目：Excel 差し込みデータ

3 行目：Word 差し込みデータ

ライセンス登録方法

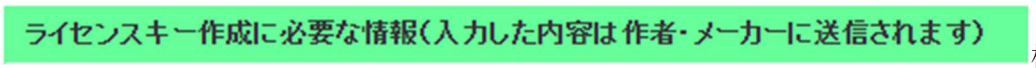
① プログラム起動時に表示する「ライセンスメッセージ」画面の「ライセンス登録」ボタンをクリックして起動する「ライセンス登録」画面から「レジストキー」を取得する。

※ 必ずシステムを運用するＰＣ上で実施する。

※ 「帳票定義編集プログラム」「試用期間中の起動」「④ ライセンス登録ボタンをクリックしてライセンス登録する。」参照

② ベクターの本プログラムページ下部の

ボタンをクリックする。

③ 

枠中のテキストボックスに①で取得した文字列を入力する。

④ その他各項目を入力して申請する。

⑤ 後日プログラム作者から届いたメール中のライセンスキーを①の画面の「ライセンスキー」テキストボックスに入力して「登録」ボタンをクリックする。

お願い

本プログラムシステムは一般企業の業務システムの一工程として組み込んでいただき、業務に役立てていただくことを目的に開発しました。

本プログラムシステムに不具合があったことによりユーザ様の業務に支障をきたさぬよう、様々な試験を繰り返しました。

それでも完全なプログラムにすることは難しく、まだ不具合が残っている可能性があります。

もし不具合がございましたら下記にご連絡ください。

迅速に対応いたしますのでよろしくお願いいたします。

不具合連絡先

メールアドレス：info@techbee.biz

宛名：TechBee